

北スラウェシ日本人会
NORTH SULAWESI

日本人会会報

Tarsius

タルシウス

第26号



メナド富士

平成26年1月

「タルシウス」第26号 目次

1. 新年のご挨拶	大之木 英雄	2
2. ビトゥンを訪ねて	清水 教博	3
3. 元山記念霊園慰霊祭のご報告	大貫 周明	5
4. トモホンの食事処	江田 直美	8
5. KITAP 申請のまとめ	下村まゆみ	10
5. 新年のご挨拶	ダウニー玲子	15
6. マッサージ師、「コ チャイ」	今泉 宏	17
7. 南方の思い出	小名木二郎	19
8. 編集後記		59
9. 会員名簿		60

平成 26 年 (2014 年)

新年ご挨拶

呉水交会名誉会長

広島戦没者慰霊祭委員会会長

(元) 海軍第十四期飛行専修予備学生

(元山戦闘機隊幹事)

大之木 英雄

平成 26 年 (2014 年) の新春、明けましておめでとう御座居ます。

ビトン日本人会の皆様、それぞれに良い年を迎えられたことと存じます。

昨年も又マネンボネンボ慰霊碑に関しまして、いろいろと御世話になりまして、心から御礼申し上げます。

昨年 11 月には今回はじめて呉水交会主催によるマネンボネンボ慰霊祭を執り行いましたが、その節は多数ご出席賜りお蔭様で無事慰霊行事を終了できましたこと、心より御礼申し上げます。

本来、小生なんとしても出席して皆様に御礼旁々御挨拶せねばならぬ処、体調を崩しまして止む無く欠席致しましたことを心よりお詫び申し上げます。

安部内閣の経済政策も今のところ順調に推移しているようでございまして、平成 32 年 (2020 年) の東京オリンピック開催と併せて久しぶりに明るい表情が街のあちこちで見られるようになりました。

今年こそ長年落ち込んでいた日本の雰囲気を一挙に払拭して、再びあの力強い日本を取り戻したいと決意しているところであります。

ビトンの皆様にとりまして、今年が幸せな一年となりますよう、心から念願して新年のご挨拶とさせて戴きます。

(以上)

BITUNG を訪ねて

大阪府 清水 教博

2013 年 6 月 22 日、マカッサルでの慰霊祭に参加したあと 23 日に MANADO(Bitung)に移動。市内の WISUMA PELAUT に投宿。晩、スラウェシ情報マガジンの脇田様にご紹介いただいた、ビトゥン在住の長崎様に招かれて夕食。

6 月 24 日 0800 時 長崎様にピックアップしてもらってマネンボネンボの元山記念霊園へ初の参拝。

元山記念霊園は海軍の 14 期海軍飛行予備学生、元山戦闘機隊の方々が中心になって建立された霊園で、霊園から見下ろすビトゥン港の眺望がすばらしい。私の恩師と会社の上司の二人も 14 期海軍飛行予備学生で、お二人の気持ちもこめて慰霊碑に合掌した。来る 11 月には呉水交会主催の慰霊祭が行われる予定と長崎様から聞く。過去には 2 回、海上自衛隊練習艦隊による慰霊祭が行われた。眼下のビトゥン錨地に練習艦隊が停泊していたとのこと、長崎様から説明をうけた。

元山霊園参拝の後、ビトゥン東部郊外の北スラウェシ日本人墓地へ。

北スラウェシ日本人墓地は 8 年前に北スラウェシ日本人会、沖縄県の有志が働きかけて建立したとのこと。在マカッサル総領事の渡辺様の後押しがあり、また、建設工事は当時ビトゥン港の工事を行っていた(株)りんかいの皆様がボランティアで引き受けてくれてこのような立派な墓苑ができました、と、長崎様のお話。

日本人墓地からの帰りにビトゥン漁港内にある水産加工会社を大貫様の案内で見学。ちょうど日本向けのマグロ(ロイン)の解体、梱包作業中で、工場内は清潔、しかも従業員が活発に動いており、インドネシア人も指導次第で日本人に劣らぬ働きをするものだと感心した。

6 月 25 日 運動不足気味であり、朝ホテルからビトゥン港まで歩く。客船乗り場ではハルマヘラ、モロタイ行きのフェリーが出港準備中。乗客の手荷物に生野菜(ネギ、キャベツなど)がある。

ホテルへ戻る途中、スーパーマーケットにより、飲み水、パン、果物等購入。ハルマヘラ行きの準備。12:00 ホテルチェックアウト。長崎様がのりで包んだ

おにぎりを差し入れ。旅先でのおにぎり差し入れはありがたい。

タクシーで MANADO に移動、ホテル（スイスベル）にチェックイン。雨で道路が混んでいて予定より大幅におくれた。

長崎様よりご紹介いただいた旅行代理店 PT. SAKURA MINORU で明日のテルナテ行きの航空券を購入。17 時を過ぎていたが、気持ちよく直ぐに発券を手配してくれた。ありがとうございました。

6 月 26 日 09 ; 30 MANADO 発 TERUNATE 行きガルーダ機。雨で 30 分遅れ。テルナテは天候不良で上空を約 30 分旋回。飛行機は上下左右に大揺れ、乗客のなかにはイスラムのお祈りをはじめめる人もいた。結局、着陸できないとの機長アナウンスがあつてメナドへ引き返す。

MANADO 着約 1 時後に再度搭乗、テルナテ向け出発。さきほどは満席であつたが搭乗を中止した者が多く空席が目立った。今度も雨の中を揺れたが無事着陸。

6 月 27 日 テルナテは強い風雨で、海は大荒れ。ハルマヘラへ渡るべく船の乗り場へ行き様子を見たが天候回復の兆しなく、今回のハルマヘラ行きは中止とする。

6 月 29 日 バリに引き返すことにした。断食、学校は休みで家族ぐるみの移動が多く、飛行機はほとんど満席。乗り継いで 14 時間かかりバリに到着。

モロタイ島は昭和 19 年⁹~~7~~月米軍が上陸。マッカーサー司令官はモロタイ島をフィリピン、沖縄攻撃の戦略拠点とした。日本軍もその重要性に気づいて抵抗したが、多勢に無勢、戦術も後手後手に回って、ハルマヘラ、モロタイでは多くの戦死、戦病死者をだした。また、ハルマヘラ、モロタイ方面に補充する兵員や補給物資を運ぶ輸送船の多くがバシー海峡やセレベス海でアメリカの潜水艦の攻撃をうけて多大の犠牲者を出した。

今回はやむを得ず中止したが、できるだけ早く慰霊訪問を果たしたい。

元山記念霊園慰霊祭のご報告

ビトン 大貫 周明

11月8日にマネボネンボにある元山記念霊園において呉水交会主催による慰霊祭が行なわれました。これは碑を建立した戦友会の皆さんが高齢化にともない2007年を最後に途絶えていた旧日本兵士の慰霊祭を、海上自衛隊の元隊員で構成される呉水交会さんが引き継がれたものです。

大変残念ながら今回はいつも団長でいらっしゃる大之木さんが健康上の理由で参加できませんでしたが、当日は呉水交会の勝山会長をはじめ、隊友会の方々などに加え、村長、地元の方々、近くの小学生児童、地元の関係者の方々、日本人会の皆さんが多く参加し、小さなマネボネンボの丘が参列者でいっぱいになりました。大変暑い日でしたが、総勢90人程の盛大な慰霊祭をとり行なうことができました。

慰霊祭は勝山会長の戦争で亡くなられた方への哀悼の意を表す事からはじまり、広島護国神社から来ていただいた林神官様より祈祷・祝詞が上げられ、関係者による玉串の奉納とつづき、参列者全員で黙祷を捧げました。その後、太光寺・渡部僧侶による読経と参加者による御焼香が粛々に行なわれました。私は今回が初めての参加なのですが、厳かに行なわれる儀式は参列したものとしても気が引き締められました。その後、同期の桜、愛国の花などを唱歌し、地元の小学生からはインドネシアの国歌を披露されました。最後に皆で記念写真を撮って慰霊祭は無事に終了しました。

とある集計ではインドネシアでの戦没者の数は、ジャワ 6,500名、スマトラ 3,200名、セレベス 5,500名、ボルネオ 18,000名、モルッカ 4,400名、スンダ・西ニューギニア 82,600名と伝えられております。

今や日本では皆が何不自由ない生活を送っておりますが、つい70年前、遙かインドネシアの地で日本の明るい未来を信じ願って亡くなられた方の犠牲の上に成り立っている繁栄なのであると痛感しました。





慰霊祭の後は、車でビトン郊外にある北スラウェシ日本人墓地へ移動し参拝しました。

墓地では再び渡部僧侶にお経を唱えていただきました。

恥ずかしながら、私はこの墓地には来た事が無く、今回が初めてでした。予想に反し、若い方、特に小さな子供の墓が多くあり、当時の現地事情がいかに困難であったかが容易に想像できます。



夜は、メナドのレストランで親交会を開き、これまでの活動の内容や海上自衛隊のお話し、最近の中国や韓国と日本の間で持ち上がっている領土問題に対する貴重なご意見などをお聞かせいただきました。

また、日本の神官さんからは拍手の正しい打ち方なども教わりました。

今回、呉水交会さん一行はバリ、メナド、マカッサル他。。。かなり過密なスケジュールで各地での慰霊祭を遂行され、身体的にも大変だったことと思います。戦争体験者やご遺族の高齢化は進んで行きますが、どうかこの慰霊祭行事を今後も定期的に続けていただきたいと願わずにはおれません。



最後に、今回、遠路はるばるお越しいただいた慰霊団の方々、地元の関係者の方々、日本人会の方々の多数のご列席を賜り、盛大な慰霊祭が無事に挙行できましたことを心から厚く御礼申し上げ、簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。

また、事前に霊園の草刈りや老朽化した部分の修理など色々のご準備をされ、普段から地道に墓地の清掃活動をされている長崎さんに、この場を借りて感謝の意を表します。

以上

トモホンの食事処

江田 直美

日本人会の皆さま、こんにちは。
今年も皆さまとご家族にとって、実り多き一年になりますように。
そして健康で幸せに暮らせますように、心からお祈りいたします！

今回はトモホンの食事処をいくつか、ご紹介します。
私の家族が日本から来た際に、行った場所で、家族は美味しいと喜んでくれました。
どのお店も、日本人の口にも合う味だと思います。

Manggarai (Jl.Raya Tomohon) ☆ナシクニンで人気のお店。ローカル料理もあり。

このナシクニンはとても食べやすい。シンプルな味付けの鰹のそぼろと牛肉の甘辛煮？いや、かなり辛い。。。が、トッピングされている。我が家は牛肉を減らすか、なしにして、鰹のそぼろを沢山入れてもらう。

Restoran Gallilea (Jl.Tomohon Kawangkoan) ☆オススメは、Rusuk Babi BakarとAyam Goreng。

ルスックには、Sambal Mentah。アヤムゴレンには、Sambal Terasiが添えてある。

「辛いけど、おいしい！」と、私の家族もサンバルをつけて食べていた。Sayur Jantung Pisangもおいしい。

Green Garden Tomohon (kakaskasen I、Jl.Kasih sayang) ☆ManadoのGreen Gardenの姉妹店。

Nasi goreng babi bakar、Gorapa fruits salada、Sapo tafuがオススメ。
値段設定は少々高めだが、Free Wi-Fiもあり、2Fのテラス席からは、ロコン山が一望できる。

店内はきれいで、熱帯魚も見れるし、メニューも豊富で、おもてなし！には、もってこいのお店。

Restoran Peking (Jl.Tomohon Sarongsong) ☆中華、ローカル料理。

トモホンの中心街からは、少し遠いが、駐車場も広いので、食事時間帯は混み合っている。

安くて、おいしい！ここに来るといつもオーダーするものが、同じになってしまう。

Babi asam manis、Capcay seafood、Kangkung cah biasa、Kwetiau goreng、Soup asparagus。。。。

しかし、先日 魚料理が食べたくて、ikan tude wokuを注文した。

(本当はgorapaが良かったが、habis。。。) 程よい辛さで、おいしかった。

RAGEY

kinillowからkakaskasenに入ると、夕方以降、白煙が充満していて何事かと思ったことがあったが、rageyを焼いているからだった。数年前まで、数件しかなかったお店が、今はragey通りと化して、かなりの店数が並ぶ。中でも、kinillowからkakaskasenに入ってすぐの、左側のお店が人気。(店名は？？？ごめんなさい。)

<< 番外編 >>

パサールトモホンの入口からすぐにある、ガラス棚に並んでいるローカルお菓子。

Lalampa、Cookies kelapaをよく買う。panada、balapis、wajiなども。。。。

その横で、バナナを売っているおじいさんがいる。

の～んびりしているおじいさんの雰囲気にながれ、ついOPA!からバナナを買ってしまう。

皆さまもトモホンにお立ち寄りの際は、どうぞどちらかでお食事をお試しください！
機会があれば、オッパアからバナナも買ってみてくださいね～。(笑)

北スラウェシ日本人会の皆さま、新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

さて、私とマナドのイミグレとの付き合いは 2008 年に始まりました。日本で取得したソシアルでインドネシア入国、婚姻後にそれを KITAS に切替えるところでイミグレの洗礼を受けることとなります。

ソシアルから KITAS への切替えについて、外国人窓口の長であった A は「本来ならば一度出国する決まりだがイミグレに任せれば出国せずとも良い。支払いは Rp.10jt」と言いました。もちろんこれは大嘘、のくせに一切値切りに応じません。納得がいかない私は後日一人でイミグレを再訪して A に尋ねました。「他州では国内で出来ている。何故マナドは出来ないか?」、「(ソシアルを取得した)在日インドネシア大使館でも国内で出来ると聞いた。何故マナドは出来ないか?」、「10 jt は高すぎる」と。すると A は答えました。「ならば他州で申請すればいい」、「日本で申請すればいい」、「10 jt 払わないなら日本へ帰れ」と。A の顔と、名前と、あの時の悔しさを、私は一生忘れません。

自宅に戻り夫に事の次第を伝えると、「何てことをしてくれた！この先どんな嫌がらせをされることか…」と叱られて、まさに踏んだり蹴ったりでした。

インドネシアの賄賂文化も使いようで、私もそれを利用することはあります。でも、『イミグレには 1 ルピア足りとも余計なお金は払いたくない』、これは上述の A が着火した私の執念です。

前置きが長くなりましたが、KITAS を KITAP に切替える手続きにおいて、苦節在住 6 年目にして初めて正規料金だけの支払いで全工程を終えることができました。これは私と夫のイミグレ対応スキル向上のみならず、マナドで自ら手続きをする頼もしい同志の存在、在マカッサル出張駐在官事務所長のご尽力、イミグレがミンタじづらくなった時代背景などが重なって起きた嬉しい(いや、本来ならば当然の)現実。

マナドでも正規料金で KITAP を取得できます！自力手続きで正規料金を目指す同志を絶賛募集中です！ということで、この場を拝借して KITAP 申請についてまとめて記そうと思います。ただし大前提として、以下に記す事柄は私が手続きをした 2013 年 3 月～7 月時点の情報であり、全てが現在の最新情報であると保障するものではないこと。この点を重々ご承知おきくださいますようお願い致します。

手続きに関係する役所

- ・ Departmen Kehakiman Direktor Jenderal Imigrasi (以下 JKT) - KITAP 許可の決定権を持つ
- ・ Kantor Wilayah Sulawesi Utara (以下 Kanwil) - 支店に相当
- ・ KITAS の住所を管轄する Kantor Imigrasi (以下イミグレ) - 営業所に相当

必要書類一覧

書類名	必要部数	備考
申請書	原本と コピー2部	イミグレで購入、ファイルを含む一式を MAP と呼ぶ
Surat Permintaan dan Jaminan	原本と コピー2部	イミグレにフォームあり、文言が分かれば自作可、印紙 Rp.6,000 貼付、WNI 配偶者が署名
Surat Sponsor	原本と コピー2部	自作可、WNI 配偶者が署名
パスポート	コピー3部	
失効パスポート	コピー3部	現パスポート以前の滞在許可を追えるもの(あれば)
顔写真	計6枚	赤背景, 2cm×3cm(3枚), 3cm×4cm(3枚)
KITAS	原本と コピー3部	
Buku Biru (POA)	原本と コピー3部	KITAP から新 Buku Biru となる
婚姻証明(インドネシア)	コピー3部	Buku Nikah または Akte Perkawinan
婚姻証明(日本)	コピー3部	Sertifikat Perkawinan, 日本で先に婚姻の場合は在日イ領事館へ届出後に出る書類、インドネシアで先に婚姻の場合は戸籍謄本写しを元にマカッサル事務所が発行
WNI 配偶者 KK	コピー3部	
WNI 配偶者 KTP	コピー3部	
Surat Keterangan Domisili	原本と コピー1~2部	【Kanwil 提出書類】Kantor Kelurahan が発行
Surat Pernyataan Integrasi	原本と コピー1~2部	【Kanwil 提出書類】自作可、印紙 Rp.6,000 貼付、WNA 配偶者が署名

必要書類に関する補足

- ・ パスポートと Buku 関係は表紙、裏表紙、初期段階で写真・文言が掲載・記載されているページ、使用済みページをコピー。KK など表裏のあるものは両面コピー。KITAS と KTP は用紙片面に表裏をコピーします。
- ・ WNA 配偶者側の書類は原本提出が不要であっても原本も持参して備えましょう。
- ・ 提出書類のコピー及び顔写真は必要数より余分に用意して備えましょう。
- ・ WNA 配偶者は KITAS では KK に記載してもらえません。イミグレの認識不足で KITAP 切替え申請時に KK 未記載の件で責められたら、その場で Catatan Sipil へ照会すると良いでしょう。
- ・ Sertifikat Perkawinan はインドネシア語訳を求められる場合があります。
- ・ Kanwil にて、在マカッサル出張駐在官事務所発行の婚姻証明に記載の戸籍謄本写し発行日を、日本側への婚姻届出日と誤解された例あり。Kanwil が事情に暗かった故の単なる勘違いです。もし同様の

誤解を受けたらその場でマカッサル事務所への照会を求めましょう。

新制度下での切替え可能時期

KITAS II→III のタイミング(II 取得の翌年)なのか、KITAS III→IV のタイミング(III 取得の翌年)なのか、あやふやです。(私は KITAS V 取得の翌年に切替えました)

手続き開始時期

遅くとも KITAS の切れる 2ヶ月前には手続きを始めましょう。これはイミグレにて申請書類一式が受理された後およそ 2ヶ月で全工程終了と謳われているからです。しかし実際は 3ヶ月前後かかっています。JKT による KITAP 許可発行が KITAS 期限より未来になりそうな時は Penangguhan(後述)を申請します。

手続きの流れ

申請書類の流れ : イミグレ → Kanwil → JKT

許可書類の流れ : JKT → イミグレ → Kanwil

- (1) イミグレにて申請書類一式が受理されて手続きスタート : 第一段階突破と言える
- (2) イミグレによるサーベイ : イミグレが Kantor Kelurahan や自宅(KITAS の住所)を訪問し定住の真偽を確認、訪問当日に朝に電話連絡あり、不在にしているときは日時変更可
- (3) イミグレから「Kanwil へ回す書類ができた」旨の電話連絡が入る : 第二段階突破と言える
- (4) イミグレにて Kanwil へ回す書類を受け取る
- (5) 4 の書類を Kanwil へ回す : 必要書類一覧の【Kanwil 提出書類】も併せて提出、JKT へ回す書類の交付日が伝えられる
- (6) Kanwil にて JKT へ回す書類を受け取る
- (7) 6 の書類を JKT へ回す : 私は TIKI 速達を使用、第三段階突破、ここまで来たらもう気が楽!
- (8) JKT から「KITAP 許可が出た」旨の電話連絡が入る : 同時にメール添付で関係書類が届く。KITAP 発行日=添付書類の発行日、この日から 5 年有効の KITAP が得られる
- (9) 8 の添付書類をプリントアウトしてイミグレへ : JKT 発行書類(外国人配偶者宛て)を受取り、KITAP 初回料金 Rp.3jt + 指紋写真手数料 Rp.55rb を支払って領収書もらい、指紋押捺と写真撮影後、KITAP 交付日が伝えられる
- (10) イミグレにて KITAP、パスポート、新 Buku Biru を受け取る(旧 Buku Biru は戻らない)

Penangguhan

JKT による KITAP 許可発行が KITAS 期限より未来なりそうな時は、30 日間の滞在延長を申請する Penangguhan を 2 回まで行うことができます。必要書類は Surat Permohonan Penangguhan (自作可、WNI 配偶者が署名)、顔写真 1~2 枚、パスポート・KITAS・インドネシア側婚姻証明のコピーなどです(余分に用意していたコピーと写真をもって申請したため詳細失念)。申請の数日後にパスポートにスタンプが押されます。

この手続きは本来無料ですが、高い確率でイミグレはココでミンタしてきます。私のときは「Penangguhan は事務手数料がいるのよね～、領収書は出ないけど」と軽いノリで言われましたが、「マカッサルからのお知らせにより領収書なしでは払えない」と切り返しをしてみたところ(“出張駐在官事務所”ではなく、単に“マカッサル”と言っただけ)、明らかに思い当たる節がある様子で「O, Oh…」と言われて終わりました。マカッサル事務所長のご尽力の件、効果バツグンです。ありがとうございました。

手続きに関する補足

- ・ KITAP、Buku Biru、パスポートは受領したその場で必ず記載事項や日付を確認しましょう。イミグレが KITAS のカウントを誤って記載、所有者自身もそれに気付かず、結果として同カウントの KITAS を 2 回経ることを余儀なくされ、KITAP 取得が 1 年遅れた例もあります(他州ですが)。
- ・ JKT での審査が長引いている時は在ジャカルタの親戚などに進捗確認を依頼するのがベストですが、その伝がないときは「可及的速やかな許可発行を依頼する文書(自作)」を WNI 配偶者名義で送りましょう。送付には TIKI 速達を使用、JKT に文書が到着後数日から 10 日ほどで手続きの流れの項 8 の連絡が入ります。
- ・ 手続きに際しては各位事前に情報収集をされると思いますが、不明点はイミグレではなく Kanwil に質問しましょう。私自身、イミグレではイジメられ放題だった頃でも Kanwil からミンタを受けたことはなく、それどころか心の底から Terima kasih と感謝できる対応を受けました。Kanwil はイミグレの上位組織ですから、Kanwil の合法的説明をイミグレが嘘で覆すことは出来ませんし、Kanwilの方が法規にも精通しています。
- ・ 役所に問合せる際には電話ではなく面倒でも直接窓口へ赴きましょう。これは自力手続きを身上とするインドネシア在住日本人妻の間では定説とされている事柄です。
- ・ ミンタしづらくなった状況下でもイミグレはその機会を虎視眈々と狙っています。私曰く、賄賂文化に慣れ親しんできた WNI 配偶者はミンタに対して妥協点を探す傾向にあり、ゼロにはしません。こちらに非が無く且つゼロにしたい時は我々が対応しましょう。それで根に持たれたとしても、次回手続きをする 5 年後にはイミグレ各位は転勤・異動で一新しています。

最後に、自力手続きは、『経験を積みれば楽になります』。これは 2008 年に私がイミグレでイジメられ放題だった時に先輩日本人妻がアドバイスしてくれた言葉で、まさにその通りでした。自力手続きで正規料金を目指す皆さま、力を合わせ共に知恵を絞って取り組みましょう！

あけましておめでとうございます。

このたびワイン好きが高じまして、「高値、品薄で入手困難」というインドネシアのワイン事情を打破すべく、ワインの流通事業をはじめました。

ご注文はメールでいただき、メナド市内での直接の受け渡しでしたら送料はかかりません。代金は現地銀行へのお振込みか、受け渡しの際に直接配達人（ドライバー）に渡していただくことも可能です。

品揃えはまだまだ少ないのですが、個人的にお奨めしたいのは今年発売になった「Plaga(プラガ)ワイン」です。

オーストラリア産とチリ産のブドウからつくられたプラガワインはバリで醸造しているため、輸入物にくらべたら比較的購入しやすい価格になっています。バリワインといえば以前はハッタンワインくらいしかなく、ロゼ以外あまり飲める味とは言えませんでした。このプラガワインはバリ産としてはめずらしく「おいしく飲めるテーブルワイン」で、正直、驚きました。

種類も、カベルネソービニオン、ソービニオンブラン、シャルドネ、ロゼと、ブドウの種類による4種が楽しめるのも魅力です。

カベルネ ソービニオン

赤ワインですが、あまり重すぎず渋すぎず、かといって甘すぎもせず、香りだけは後味にバニラの香りがただよってくるような、ワイン初心者が十分にたのしめるものに仕上がっています。

ステーキ、ビーフレンダン、スパイシーなパスタ料理ともよく合います。

デザートではチョコレートやシナモンを使ったデザートなどと相性バッチリだと思います。

ソービニオン ブラン

酸味がさわやか、キリリとした味で飲みやすい軽めの白ワイン。

よく冷やして飲むのがおすすめです。どんな料理とも相性がよいですが、特にシーフードやサラダ等に合います。

シャルドネ

同じ白ワインでもソービニオンブランほど酸味はなく飲みやすいワインです。フルーティーな香りで少しまったりした感じがあり、こくのあるワインといえます。これもあまり料理をえらびませんが、お肉やシーフード、ベジタリアンディッシュ、ココナツベースのカレー料理などにぴったりです。

ロゼ

すっきりとした口当たりが軽快なワイン。よく冷やすと更に旨いです。ソフトでフルーティーな味ゆえ、ワインが苦手、という方でも割と飲めちゃうタイプかもしれません。パーティーなどにも見栄えのする、ほんのりピンク色したわいん。サラダやパスタ、魚料理、パエリアやご飯もの、ナシゴレンなどとも合います。

現在、我が家は毎晩ソービニヨン ブランで晩酌していますが、どのプラガワインも軽めで、この土地の気候に合ったワイン、といえるかと思えます。モダンなワインとしてバリ在住外国人の間でも話題になっていますし、うちのゲストもお土産としてお持ち帰りもされるほど好評です。スラウエシでは現時点では当方でのみ購入可能です。

尚、ワインのほかにトラジャコーヒーの販売も準備中です。日本に輸出されているタナトラジャコーヒーを、マカッサルの加工業者から直接購入する話を進めています。コーヒー販売についての詳細はまた後ほどお知らせいたします。

日本人会の皆様、今年もどうぞよろしくお願いたします。

平成 26 年 1 月 1 日
ブナケンチャチャ

玲子 & ラフ

E mail infoi@bunakenchacha.com
<http://www.bunakenchacha.com/jp/>

マッサージ師、「コ・チャイ」

真珠養殖屋

今泉 宏

毎度、真珠屋今泉です。皆さんお元気ですか？今回はメナドの本格マッサージ師チャイさんの紹介をします。

最近、街のあちこちに新しいマッサージ屋さんが出ていますね。でも、それらの7割方は若くてきれいなおねえさんがXXしてくれるいかがわしい場所であると思われれます。残りの3割にしても、たまあにつぼを心得ているマッサージ師に当たる場合もありますがせいぜい凝りをほぐす程度でしょう。

ところがこの中国人マッサージ師チャイさんは僕のぎっくり腰を2度も治してくれたのです。

治療方法は指で筋肉をぐりぐりほぐしたり、つぼをぐりぐり押ししたりといった一般的なマッサージと同じようなものですが、必要な箇所だけ集中的に指を食い込ませるように行います。最初は肩甲骨の辺りを重点的に指をぐいと押し込むようにもみほぐします。次に背骨に沿った筋肉を背骨のゆがみを確認しながら矯正するようにぐいぐいともみます。ここまではなんとか我慢できますが、次はぎっくり腰で痛い場所をぐりぐりします。激痛に悲鳴を上げそうになります。最後はおしりの窪みの少し上辺りをぐりぐりします。多分ここに大事なつぼがあるのでしょう。これがものすごく痛くてたまらず悲鳴をあげてしまいます。悲鳴をあげてもチャイさんは手加減などしてくれません。

もう治療が終わった時には汗と涙でびしょりになります。でも不思議なことに治療前には立ったままズボンをはけなかったのが、楽々と膝が上がり立ったままはけるようになっていたのです。多少痛みは残りますがその後は軽い運動とストレッチでリハビリを続けたらほぼ完治してしまいました。

場所は次ページに地図を載せておきましたが簡単に説明をしておきます。地図は下がビトン、上がメナドになります。診療所はスイスベル・ホテルやペンシユラ・ホテルのある大通りから1本裏に入ったところにあります。スイスベルを過ぎるとグラエルやヌードルハウスなどが右手に見え、さらに行くと右手にマンディリ、グラン・セントラルと続きます。場所的にはちょうどグラン・

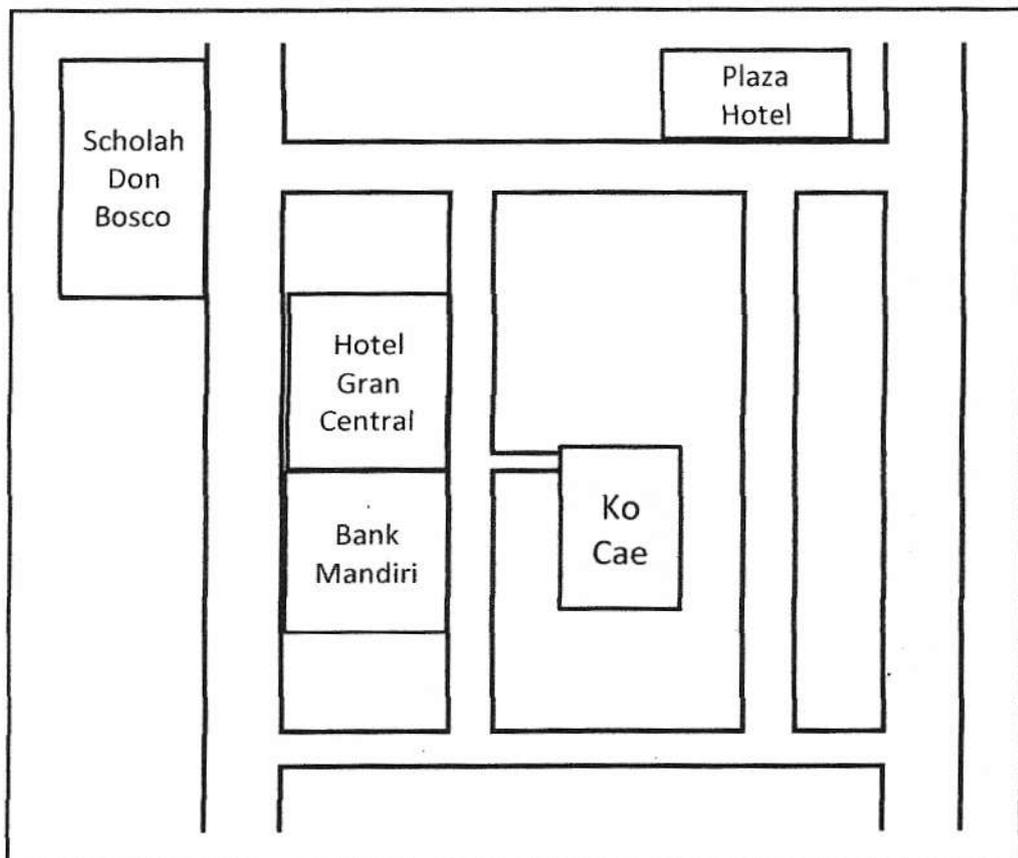
セントラルの裏手に当たりますが、手前のクリーニング屋横の路地を入れてすぐに左折するとグラン・セントラル、マンディリの裏手に出られます。(ここまでは車で入れます。)そこにある狭い路地を突き当りまで行くとチャイさんの診療所に着きます。あまりにもおんぼろで看板もないので一見ただの貧しい民家にしか見えませんが・・・。

一つ気を付けなくてはいけないのが治療の時間です。彼の師匠であるお父さん(おじいさん?)の教えで昼間は治療をしてはいけないのだそうです。そのため午前中か夕方以降が治療の時間になります。

どこか体に痛みのある方は一度試してみたらいかがでしょうか?料金は治療の内容次第ですが、ぎっくり腰の治療で一回10万ルピアでした。

コ・チャイ

電話番号 08124422918

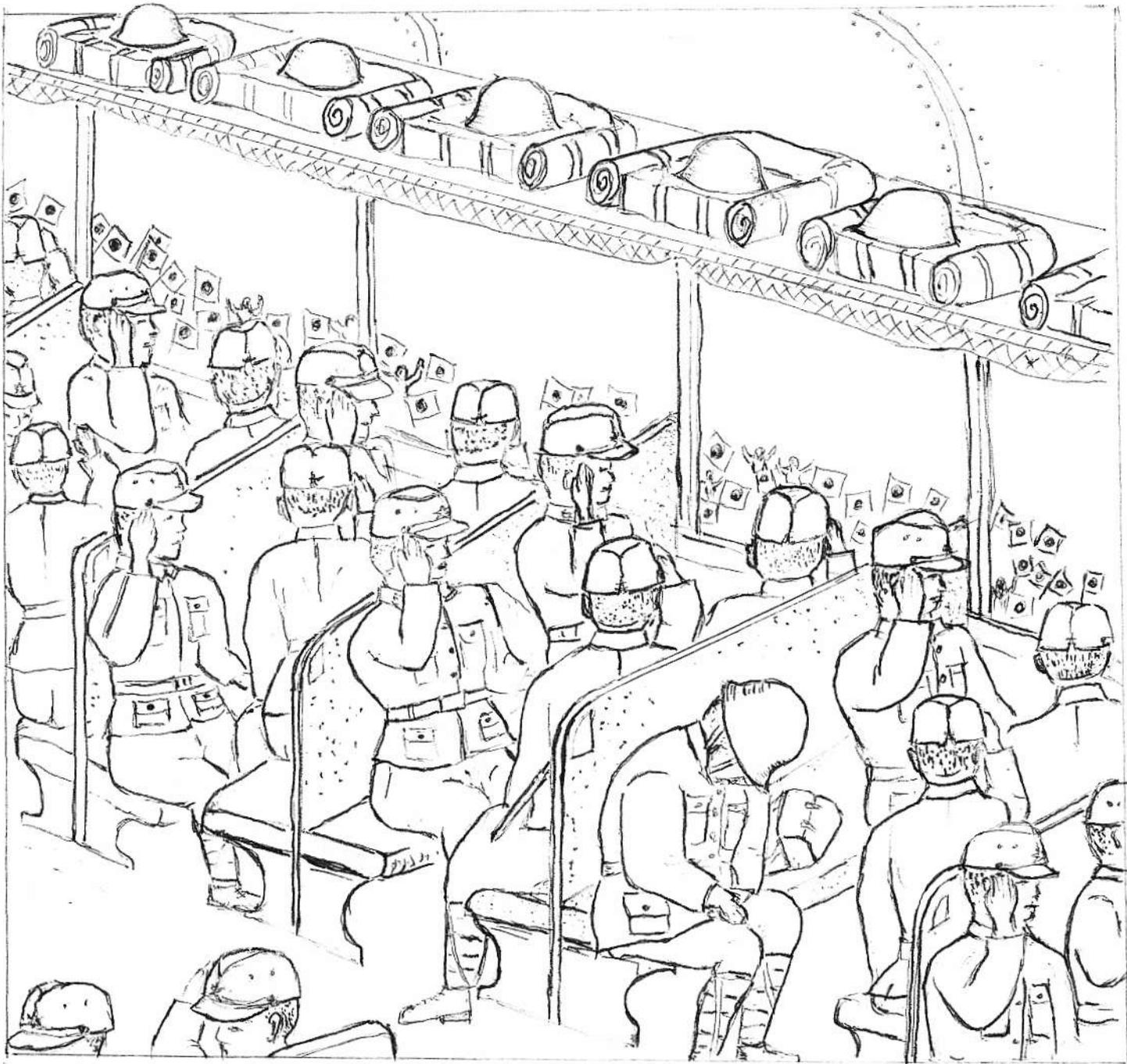


南方の思い出 その2

濠北派遣楓四二五五部隊 沖四中隊

素人が描いた下手な絵ですが、当時の思い出の
 索引にでもなれば幸甚です。暗く冷たく悲惨
 だった戦争と、一釜の飯を食った戦友との日常を
 少し明るく漫画風に描いてみました。小名水二郎





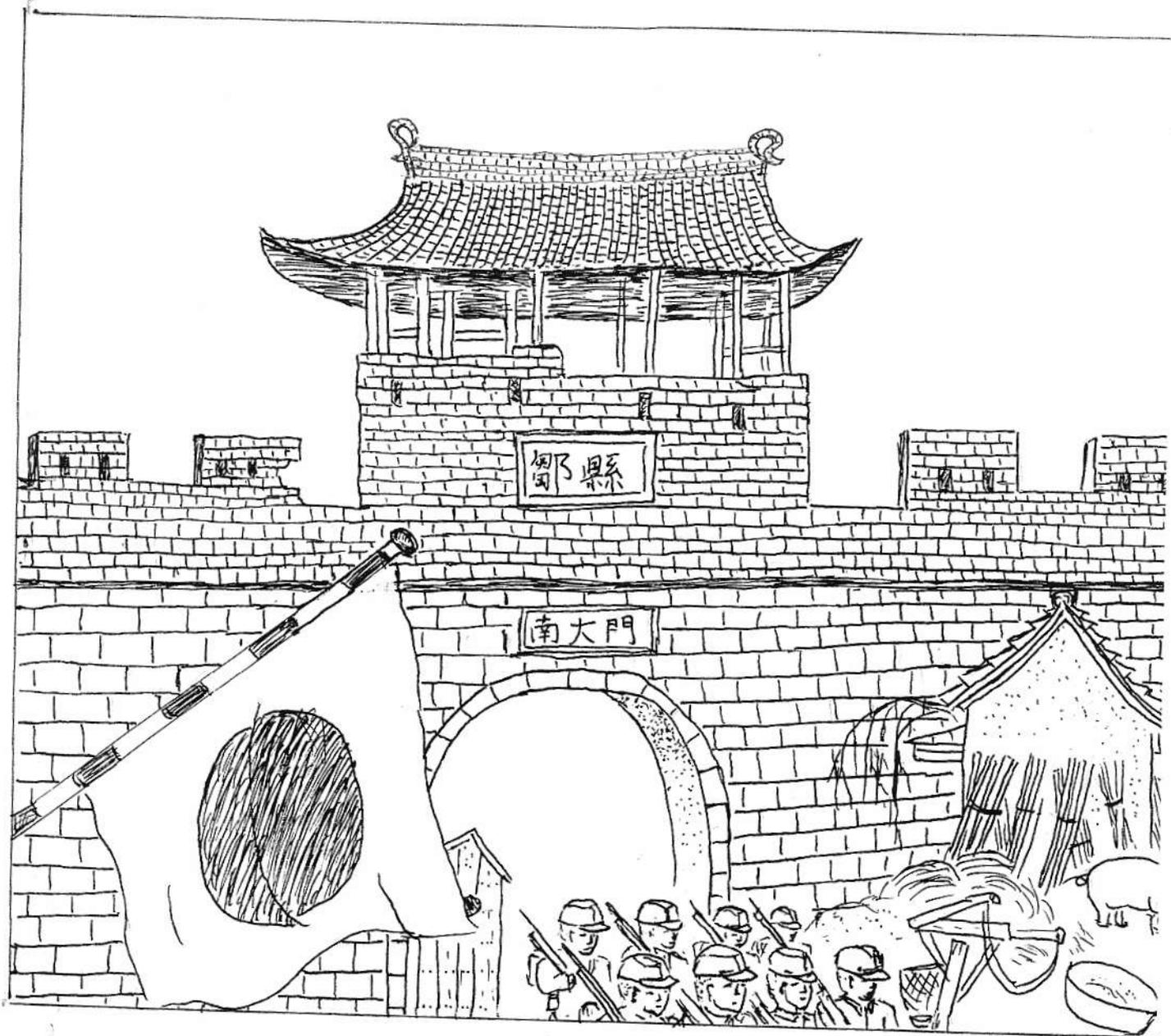
昭和18年12月7日近衛歩兵三聯隊より行軍品川駅より軍用列車乗車 *Onagi*
 鉄道沿線は見送りの人々があふれかえって 2日両答礼をしたつきり。
 見送り本当に有難うございました。

12月9日 博多港着

12月10日 強風のため 1日遅れて博多出航 船中4食オールカレーライス

12月11日朝 朝鮮釜山港上陸

12月13日 鮮満国境通過



昭和18年12月16日華北山東省鄒縣^{スウケン}着 同日入隊式

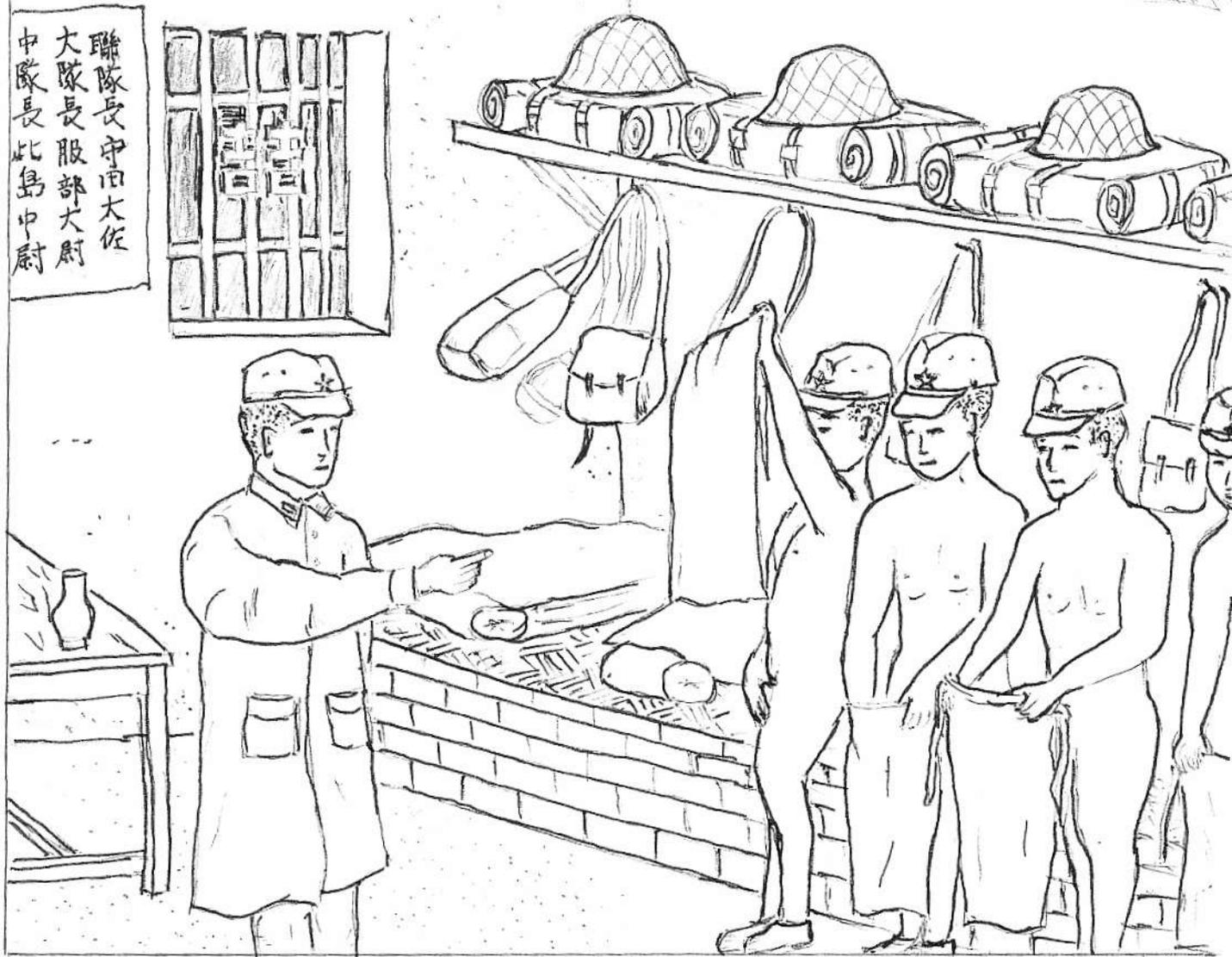
Onagi

中四中队 軽機関銃班に配属^される

鄒縣^{テンシン}は天津^{フイゴ}~満口^{シンゴ}間と結ぶ津浦線の沿線にあり

周囲を縣城に囲まれた小都市で、孟子を祭った孟子廟の所在地です
電灯は中队事務室に5ワット1灯だけ、内務班は落花生油のランプ
でした。ランプ掃除は毎日当番を決めてやりましたが、又このランプのホヤ
がよく割れました。

聯隊長 守田大佐
大隊長 服部大尉
中隊長 比島中尉

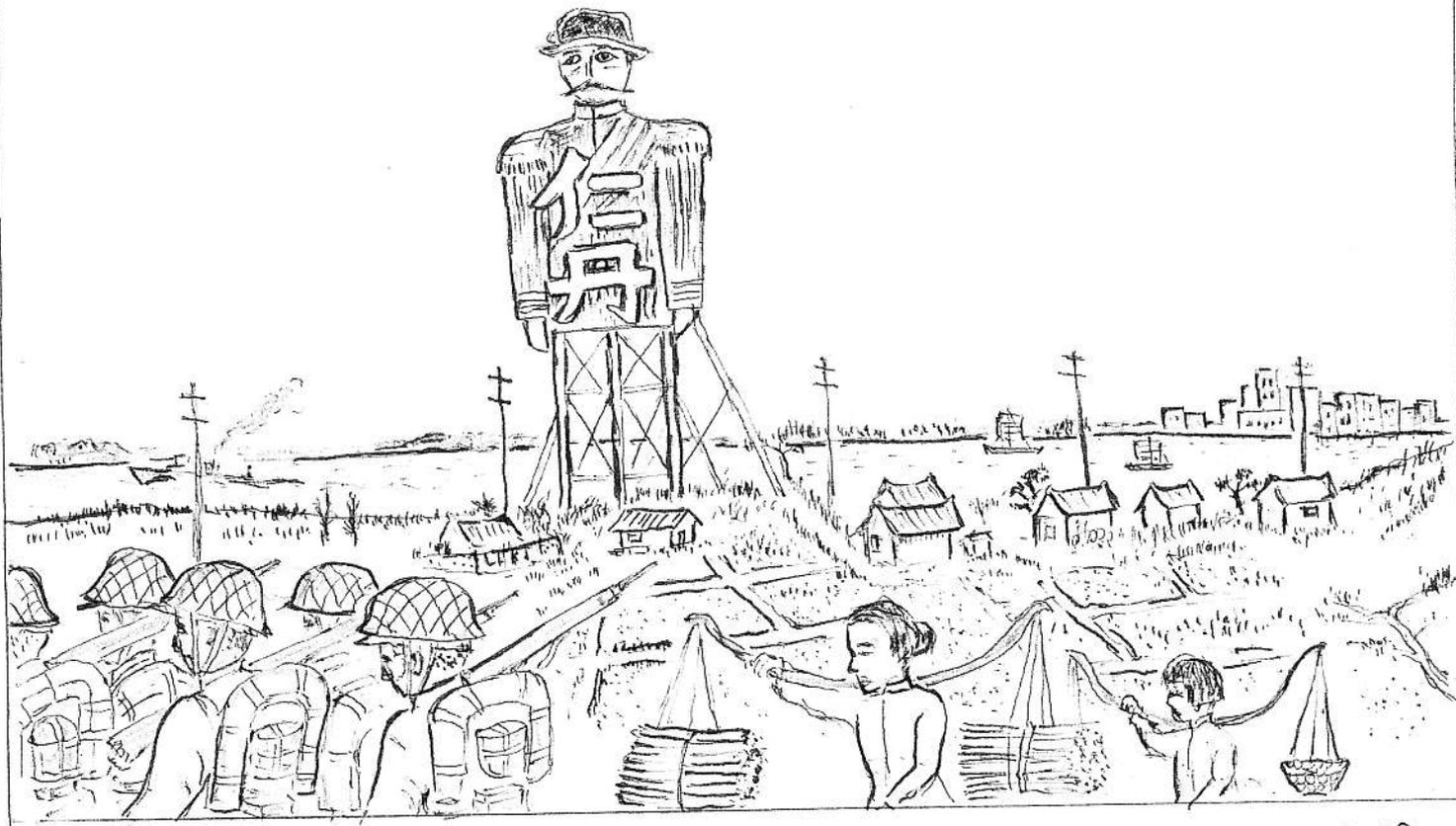


昭和18年12月北支山東省鄒縣 ^{スーケン} 中隊兵舎

5.19

全員起床 !! 夜の夜中に起されて 衛生兵殿のシラミ検査
「全員褌を外せ、おい両手で上げろ」「ハイ、兵長殿」

シラミちゃん早くかくれろ、お前が見つかる俺の顔が又変型するぞ
シラミちゃんに仲良くなるのも無理はない 鄒縣では一度も入浴出来なかった。
入浴に行ってまいりまーすと云って内務班を出る。
防火用水で手拭いを濡らす。顔をふく、適当に時間をつぶす
入浴に行ってまいりました と云って内務班に帰る。
古年兵がいつも入っているんで初年兵は入浴出来なかった。



昭和19年3月28日より 4月17日まで 宝山で 敵前上陸訓練

天〇

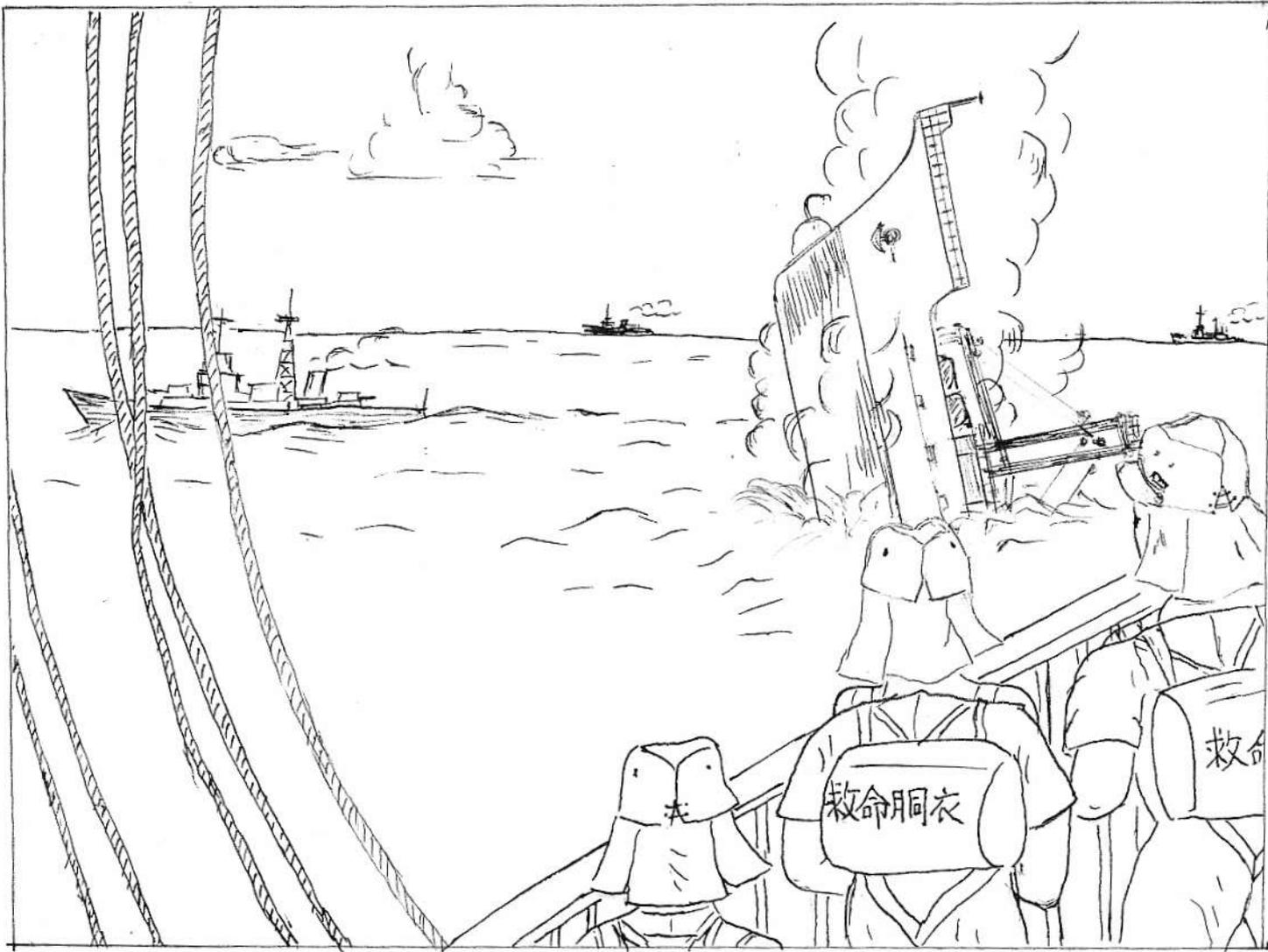
訓練 訓練 又 訓練、月 月 火 水 木 金 金、

大きな仁丹の広告塔が上海付近には多い。これは宝山郊外です。

昭和19年4月17日、南方転進のため華中江蘇省と海港出航す。
 装備は完全軍装の外に敵潜水艦によるボカチンに備えて防水袋に
 カツオ節 乾パンを入れる。兵器は海に沈まぬ様竹筒を取り付ける。
 非常用 飲料水 1人1升びん1本。

フカ除けに赤い布を禪の先に付ける(6尺位)

フカは自分より相手が大きいと 逃るらしい。



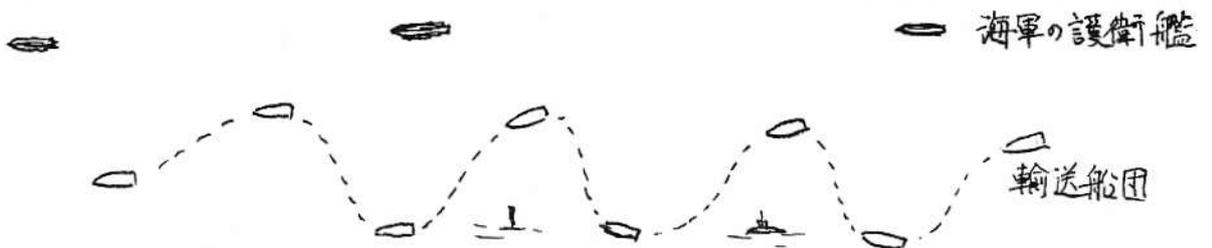
ジョ

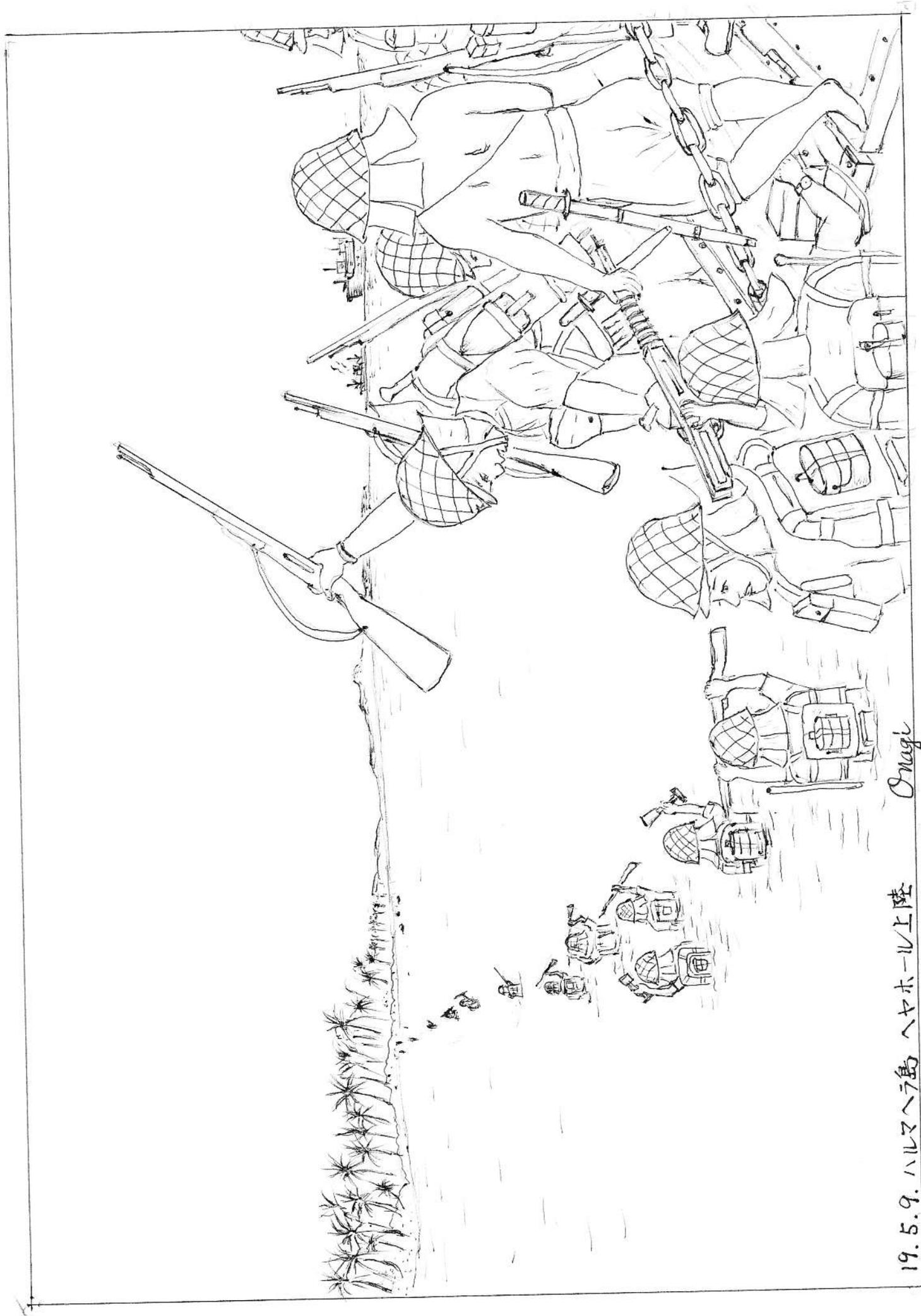
船団、敵潜水艦の攻撃を受ける

昭和19年4月26日ルソン島西北角西方50哩バシー海峡附近に於て敵潜水艦の魚雷攻撃を受けオー吉田丸が轟沈、一瞬にして2,700名を失う。

船団再び受難

昭和19年5月6日マニラ出港、6日後メナド北方海上で再び敵潜水艦の攻撃を受け、亜下丸、但馬丸、天津丸が撃沈される。轟沈ではなく、又昼間攻撃のため乗船部隊3,517名中、戦死は97名にとどまった。





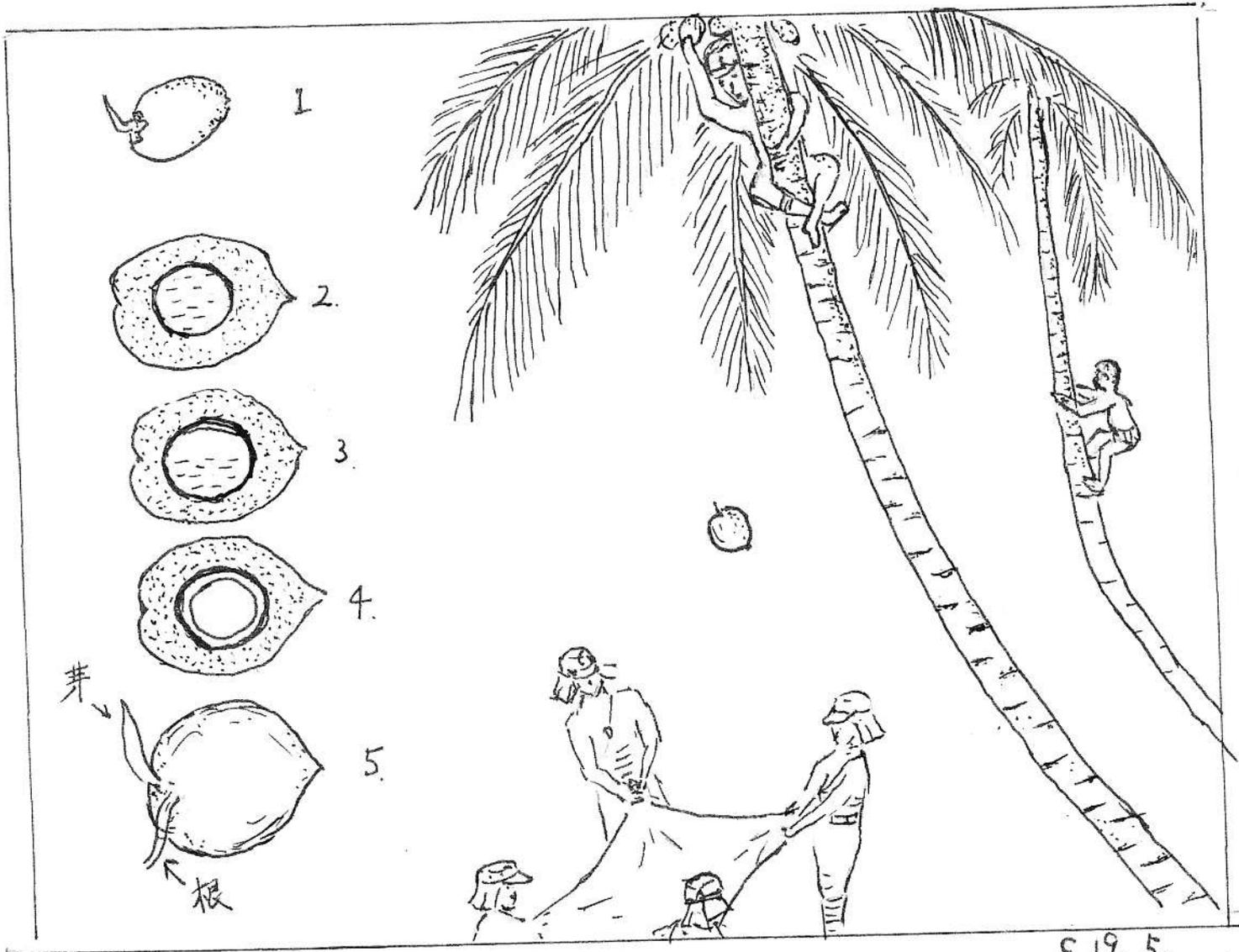
19. 5. 9. ハルマヘ7島 ヘヤホール上陸

Omagi



S. 19. 5. ワシV集積所。彈藥運搬使役
 S. 19. 6. 上等兵に進級する。

Onag



S. 19. 5.

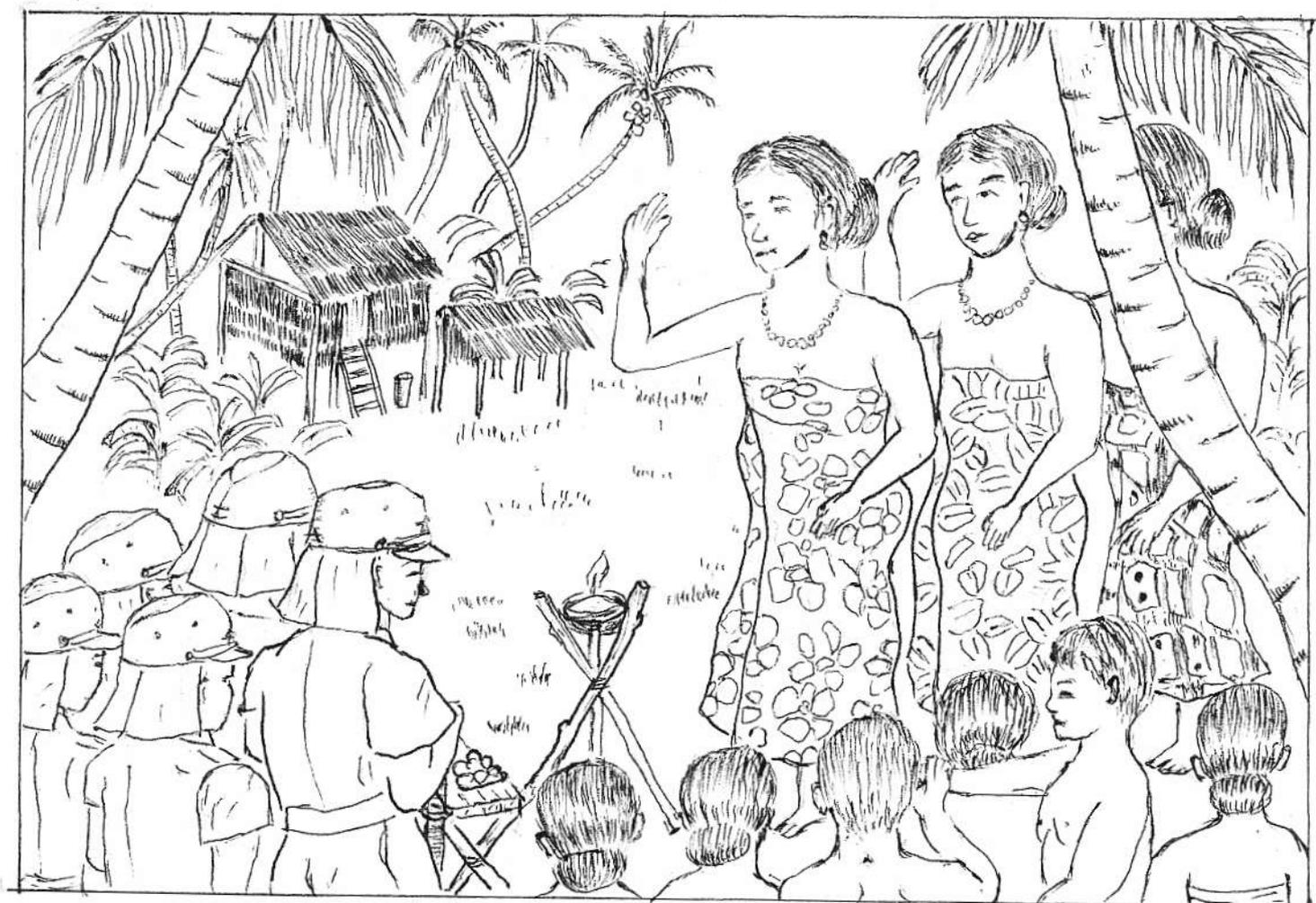
ハルマヘラ島ハマボ

椰子の木は兵隊の命の恩人

と云っても良いほどお世話になりました。上陸当時は仲々椰子の木に登るのも大変でした。インドネシア人は猿のようにずりずりと上手に登るのに兵隊は胸から腹まですり傷だらけになります。

ココ 椰子の実の見わけ方

1. 実が若いと型も小さくて黄色く、中の水もにかい。
2. 大きさはラグビーのボール位になる。緑色になり中の水は砂とう水のように。
3. 大きさは2割少し大きくなると中にうすいコアラが出来水はサイダーのよう。
4. 色は茶色になり、中の水が無くなり、コアラだけになる。
5. 木から落ちて来る。芽と根が出て来る。



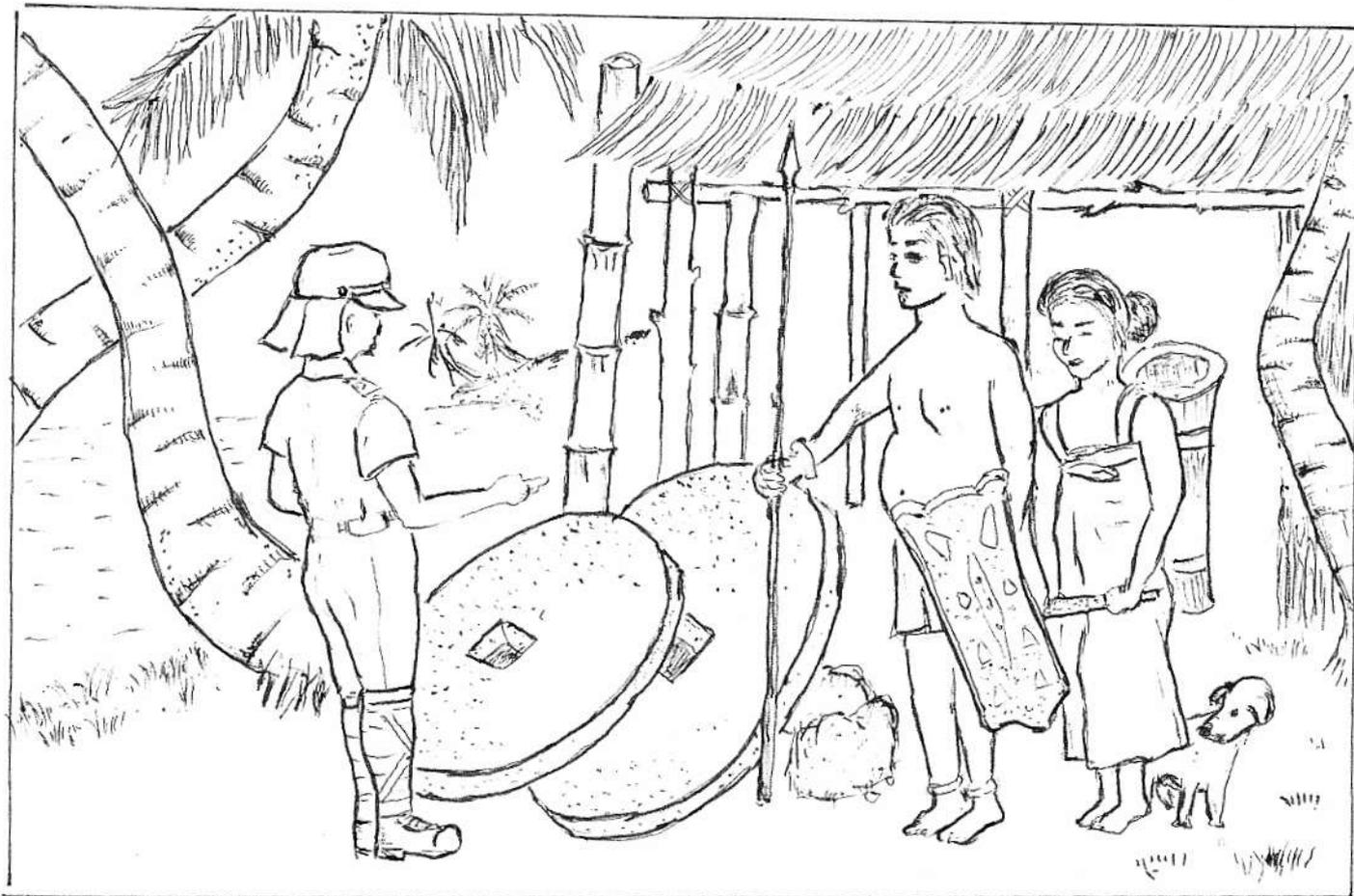
ロンケ" ロンケ"

S. 19. 7.
ハルマヘラ島 マベヤ

ロンケ"とはインドネシアの民踊です。月に一、二度あります。
カパラカンポン(酋長)の家の前で開くことが多いようです。
戦の踊り、火の踊り、チンチンの踊り、等一晩中続きます。
チンチンとは指輪のことです。輪になった人々が次々に
指輪を手渡して誰が持っているか当てる遊びです。

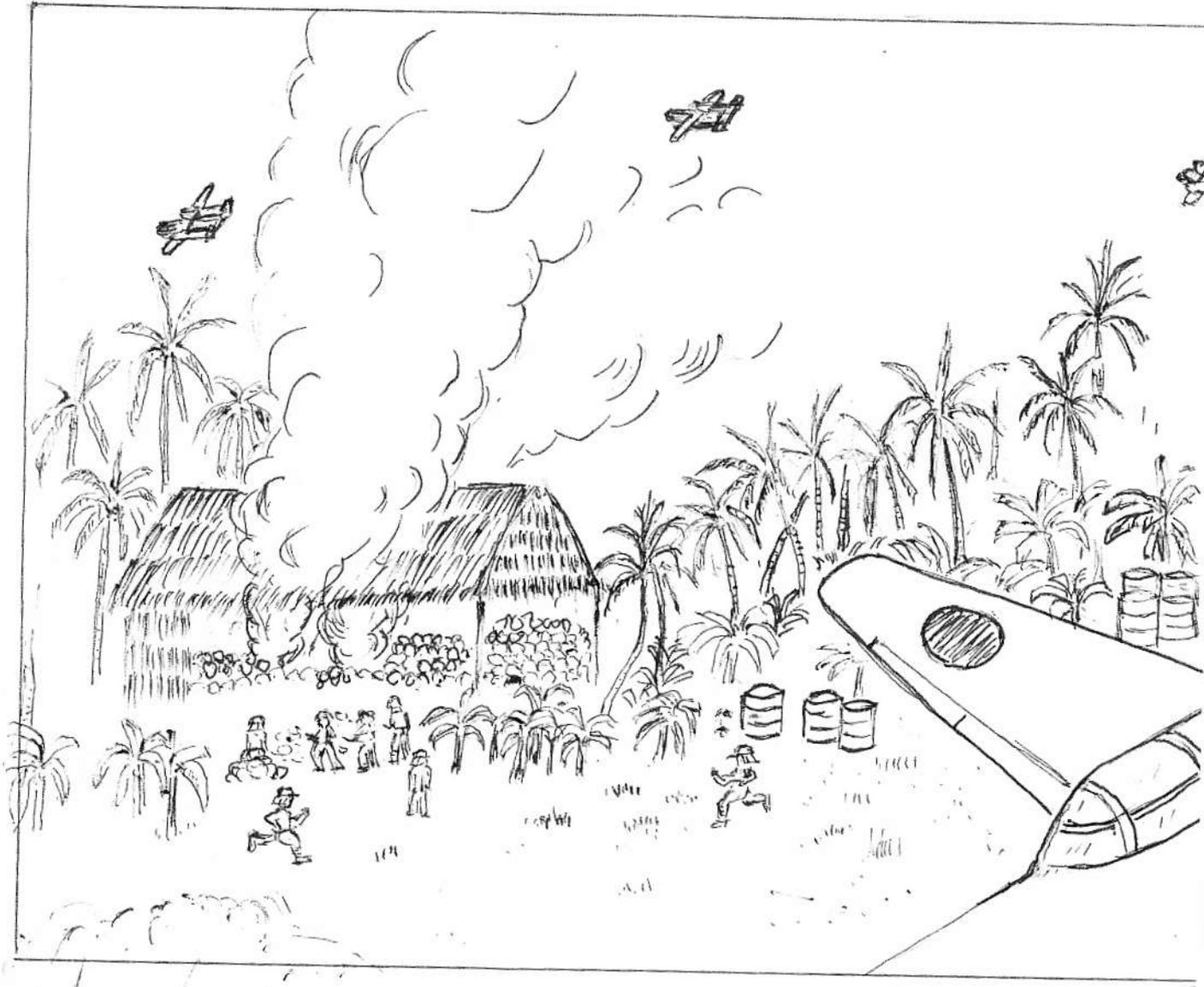
ノナ ノナ

ノナマニ ササヤン^プニヤン ノナマニ ササヤン^プニヤン
ノナマニ ササヤン^プニヤン ラササーヤ バータケー
こんな歌が聞けるのもこの時です。



ロンゲ"に行く島民 S19.7. ハルマヘラ島マヤ

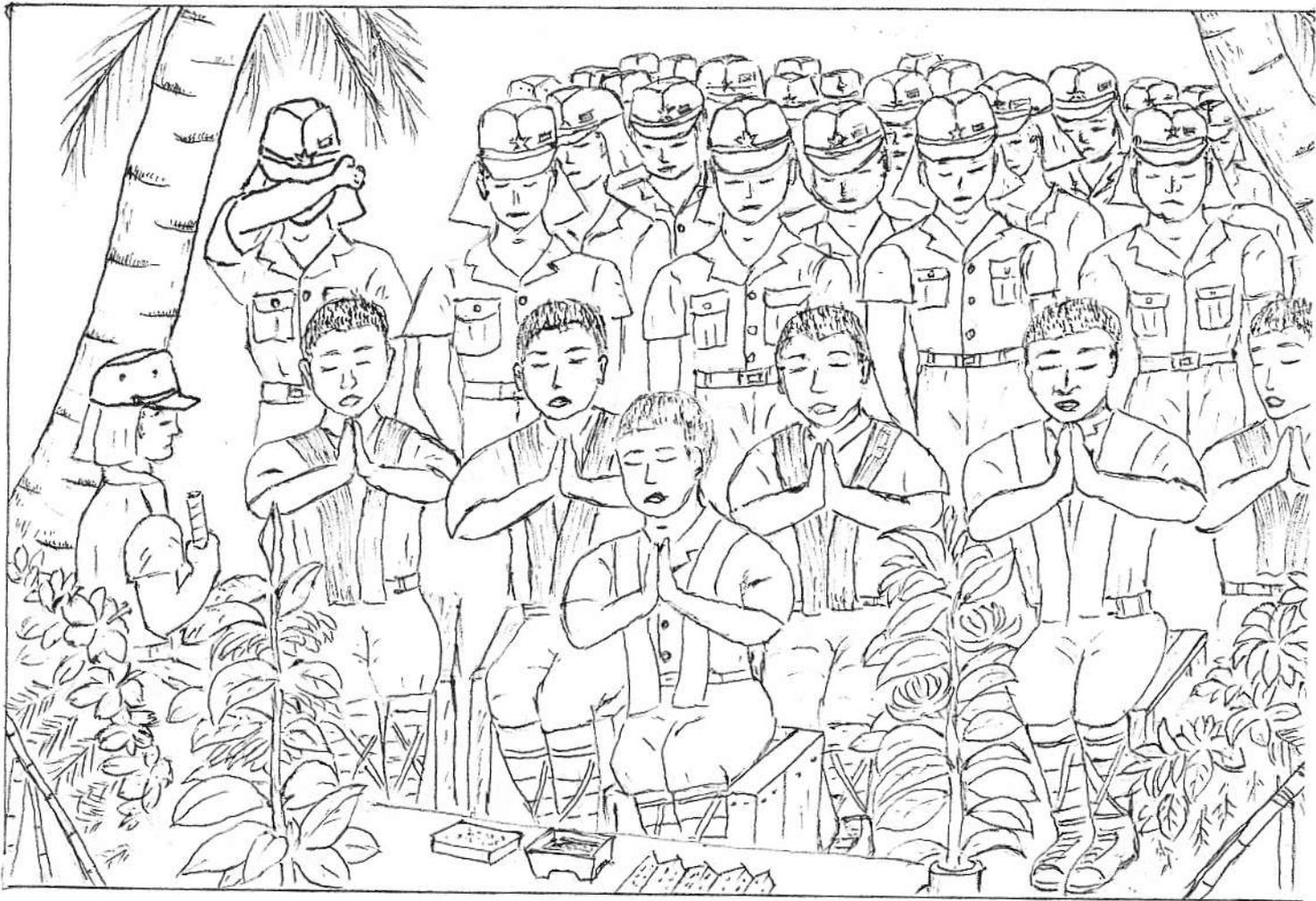
リマナピギ" (何処に行くのか) と私はインドネシアの住民に聞く。
 また"おぼえたてのほやほやのインドネシア語で、
 彼は答えた。サヤ ロンゲ" ニヨニヤ サマサマと。私もここで
 すかさずボレと云う。 槍や盾は踊りの衣装として残って
 いました。 丸くて平たい大きな石のお金が海浜に近い
 家にはまだありました。昔は使ったらしい。
 動物性タンパク質 アンダン(日本語で犬)は兵隊の顔を見くと
 すぐかくれる。兵隊が犬を喰べること犬にもバレたかな。



ミ千島大爆撃を受け食糧倉庫も丸焼け

昭和19年7月3日

B24、P38 計200機による大爆撃 銃撃を受ける。
南北に6km 東西に4kmのミ千島はジュウタン爆撃をく
ゼロ戦は全滅に近く、島の形まで変わるかと思うようだった。



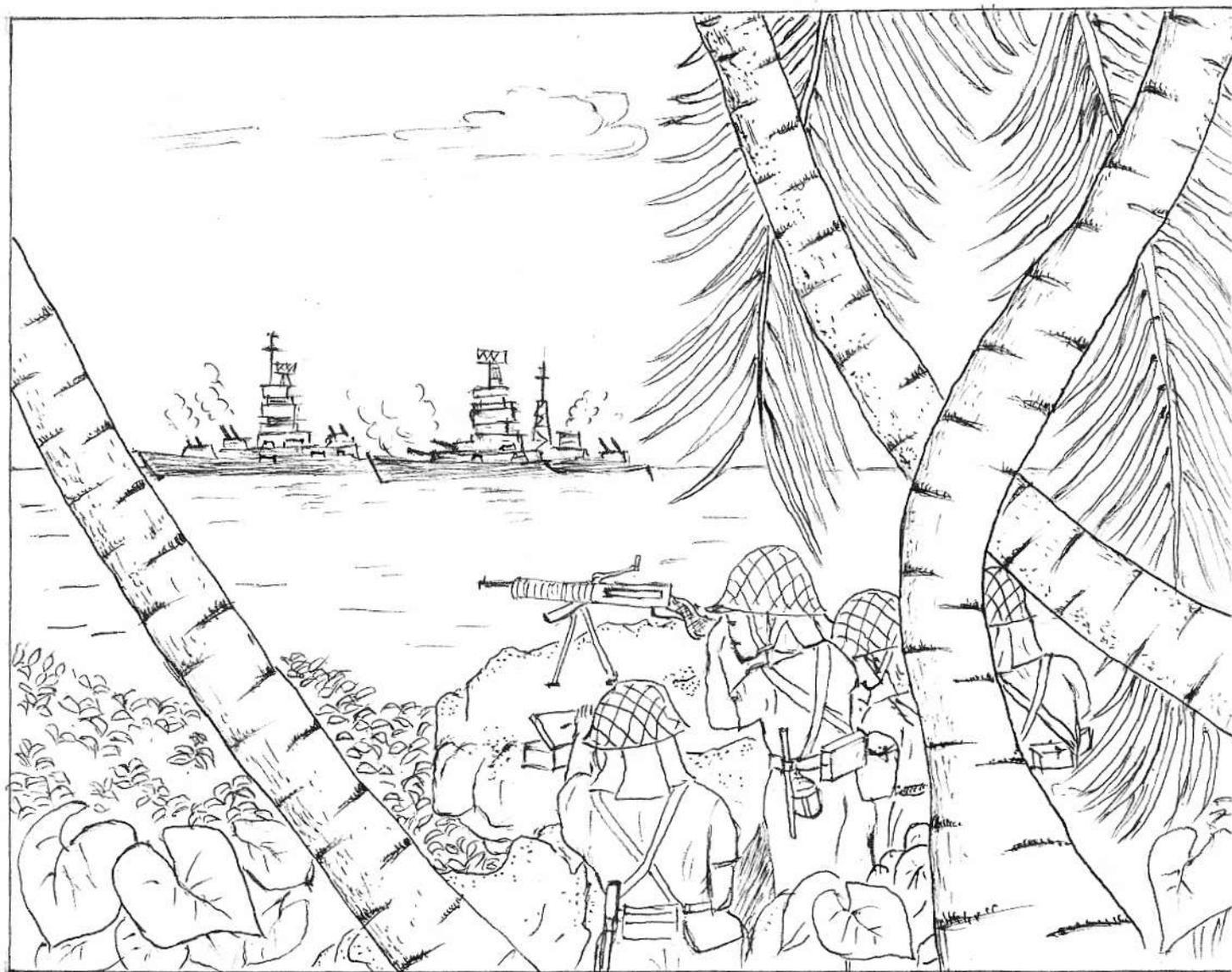
ミ千島合同慰霊祭

昭和19年8月

19年7月27日の戦死者の部隊合同慰霊祭がミ千島で行われた。戦友達手造りの佛具や花輪が霊前に供えられた。略式のケサを掛けたお坊さん6名も僧籍にある兵隊さんだ。祖国から遠く6000km南冥の地に読経の声は戦友の涙をさそう。この日、四中隊 秋谷政雄、中村七郎、加藤松え助 諸兄を含む数十名の霊を慰めた。三君とも私と同年兵で内地を出てから戦死されるまで行動を共にした戦友だ。

お坊さんの一人、二中隊の平松理空兵長、現在の()名理空氏とは時折お逢いするので当時を偲んで語りつきません。

7月27日は戦死、負傷者が多く、現在でも中村清君は片足不自由又、川本錠吉君は胸に弾が入ったままです。



Onagi

昭和19年9月15日 ミナ島東地区守備中敵モロタイ上陸

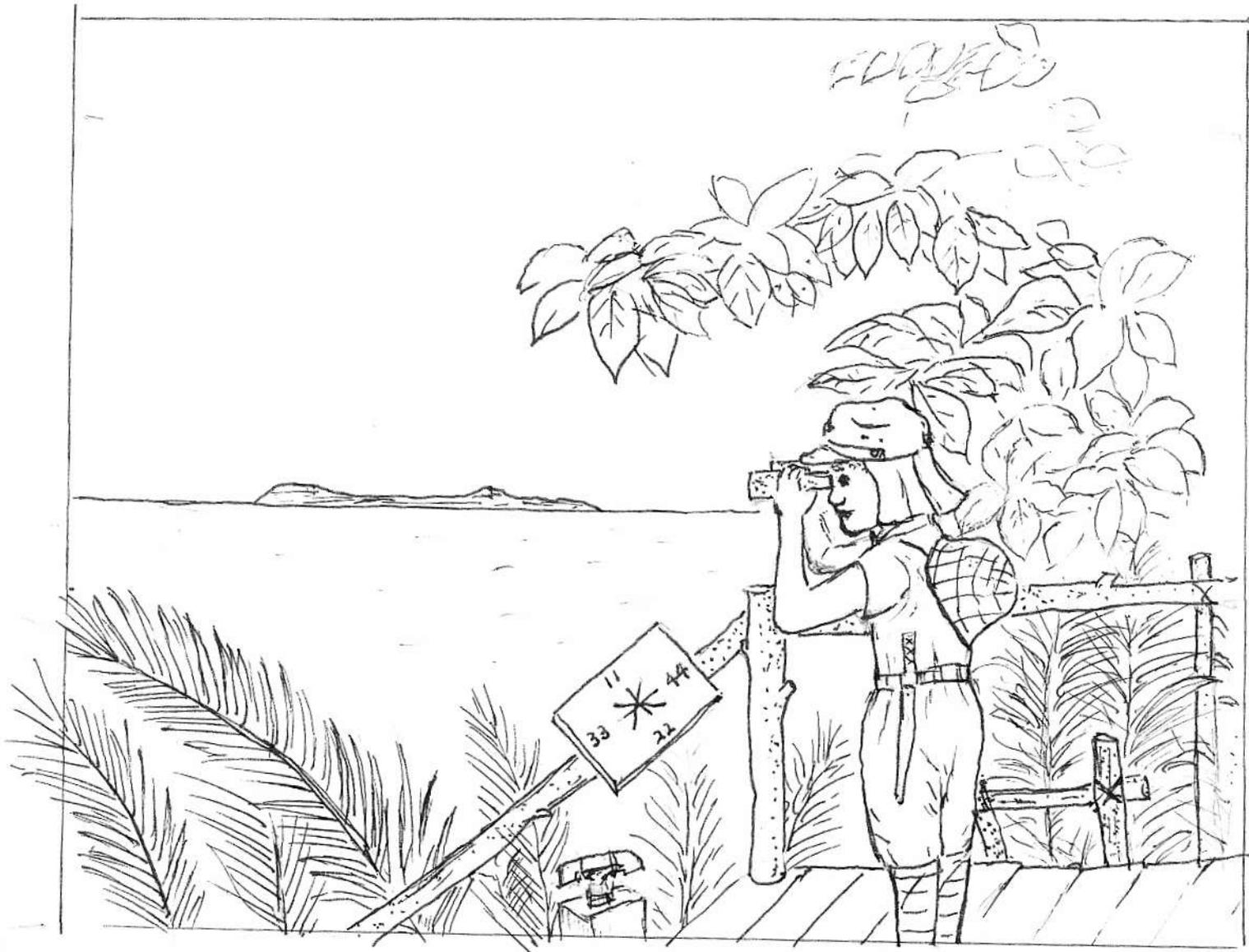
敵艦2隻ガレラ、トベロ地区に対し艦砲射撃、この間に敵はモロタイ島
ギラ岬 ワヤブラ附近に大船団を進ませ上陸した。

敵の上陸に備え水際に待機、自爆用手榴弾も靴紐で帯革に結んだ。

艦砲射撃朝5時30分より8時まで、8時丁度に引上げて行った。

やれやれ又助かった。

小隊長小坂少尉、分隊長八木伍長、共にモロタイで戦死された。



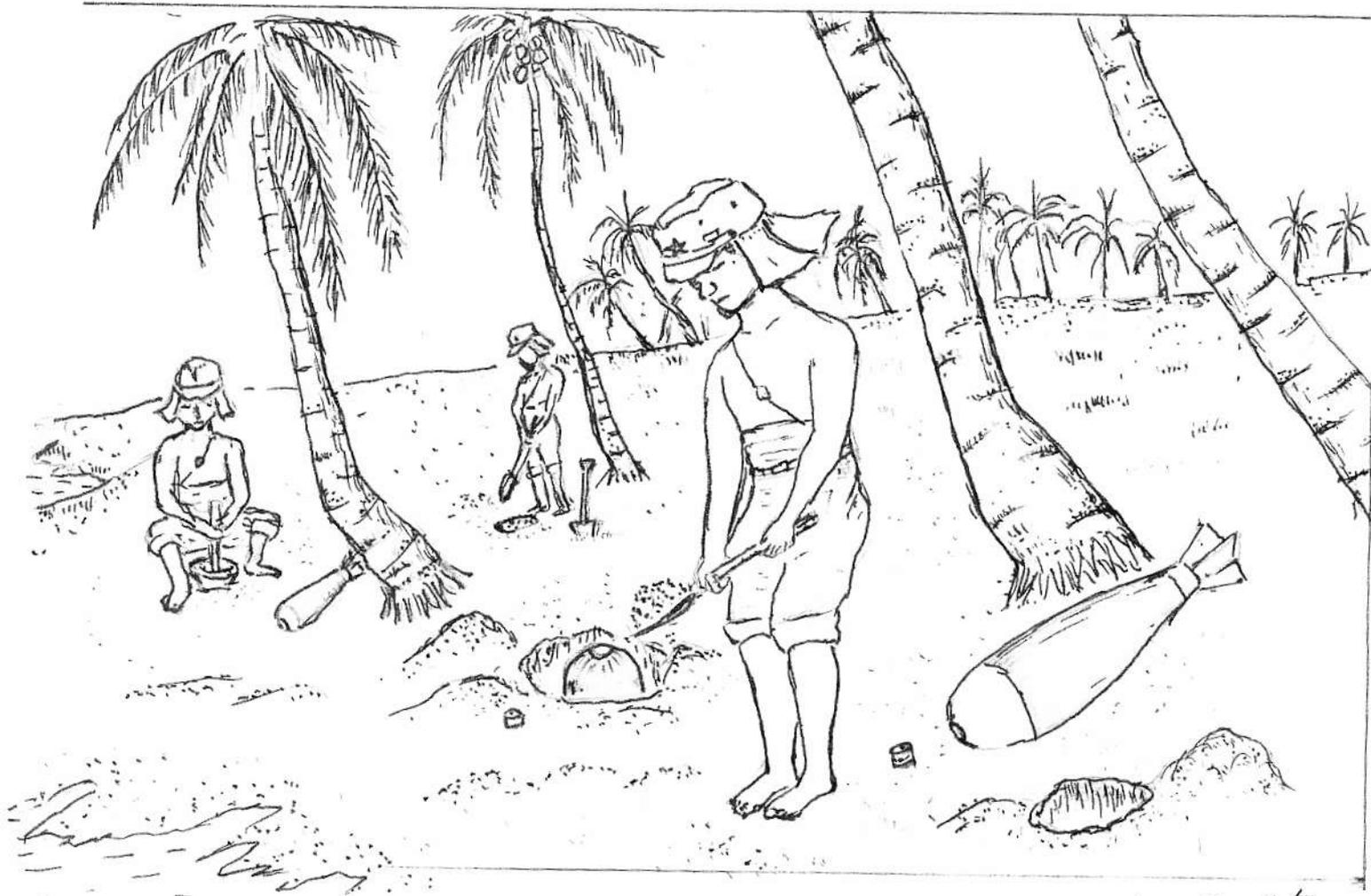
ミチ島 対空監視哨

S. 19年 9月

ミチ島

眼前に敵の上陸したモロタイ島が見える。眼鏡で見ると敵様の行動も手に取る様に見える。11より33へP38 16枚と報告する。毎日きまった定期便 B24さんはまだ出勤しないなどたまに時間通り来ないとかえって気になる。此のBさんは時々海にバクダシを落してくれるので魚が取れる。

8.8. 上空に敵様が来た時は壕に入る。8.8.とは真上のこと。ミチ島は珊瑚礁のためダイナマイトを使っても仲々タコツボが掘れなかった。水も塩分が多くて呑めば呑むほど喉がかわく。



S.19年9月ミ千島

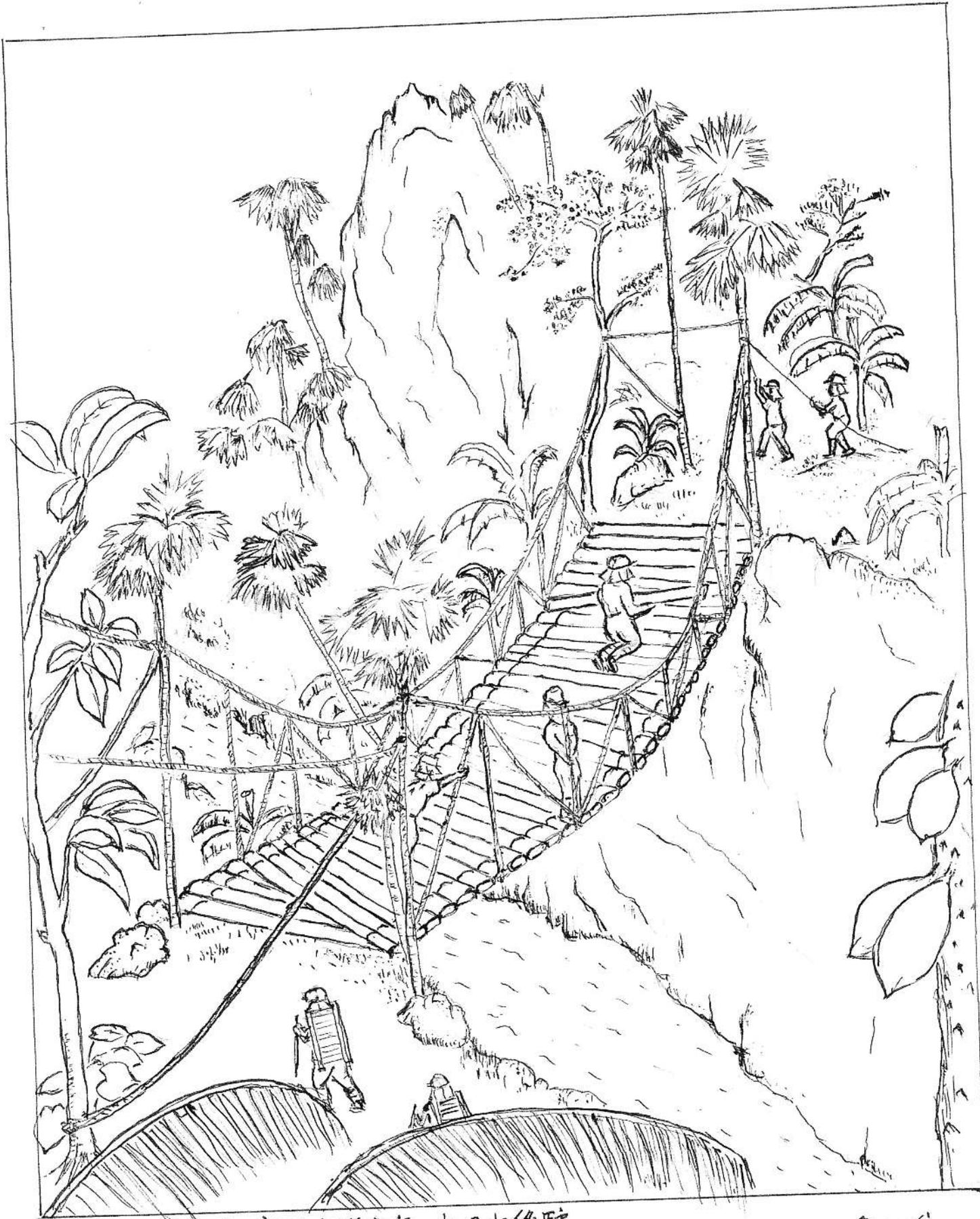
敵戦車の上陸に備えてミ千島の砂浜に 50kg爆弾を埋める

ミ千島基地のゼロ戦は全滅に近い打撃を受けたが、戦闘機用の50kg爆弾は山程あった。

それで敵戦車の上陸しそうな砂浜に爆弾を埋める事になった。

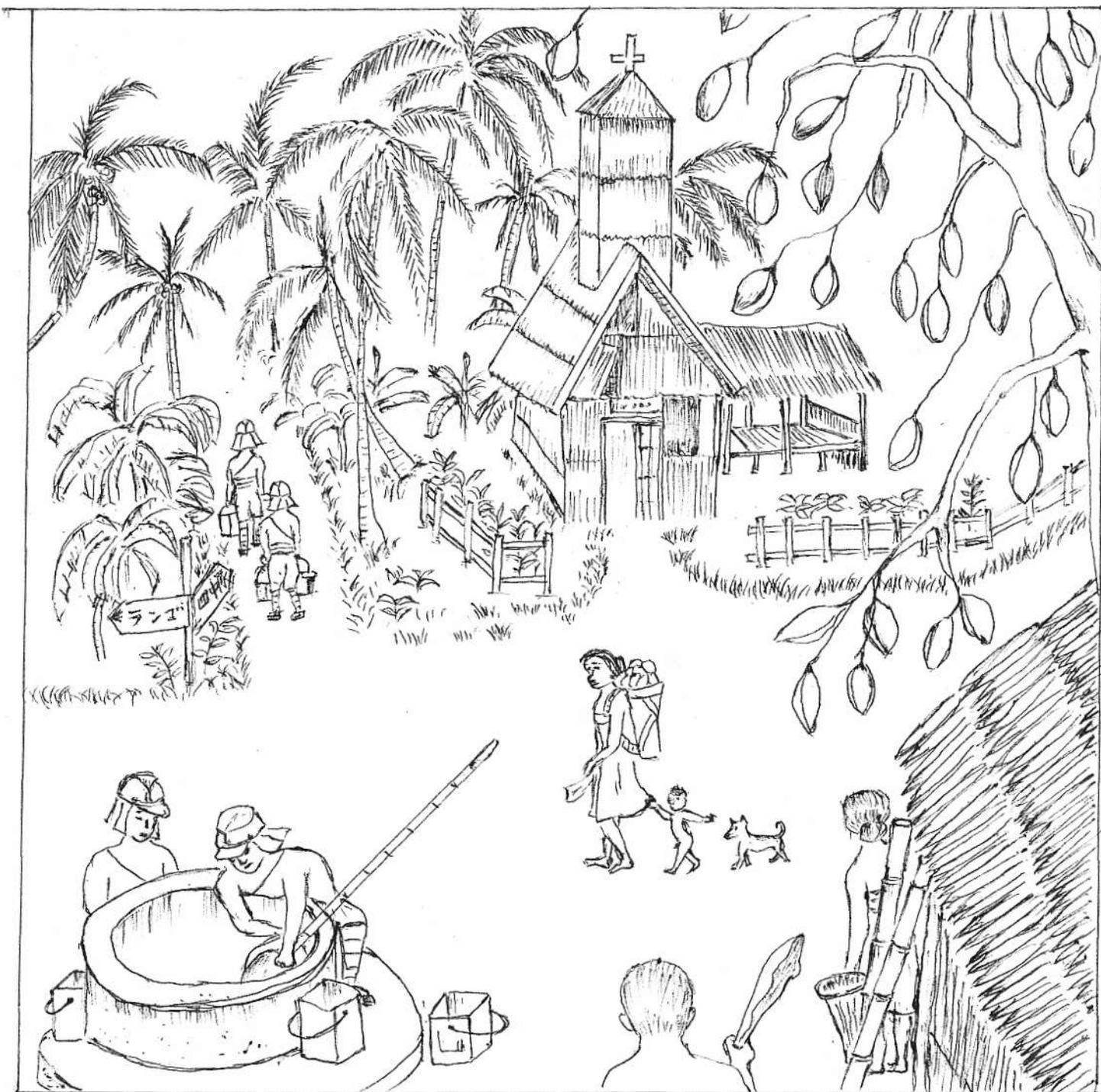
そこで我々 楓ニコヨン部隊のご出動となる。

土方にも大分なれたが仲々危険な作業で、信管を付けた後は椰子の実が落ちてても爆発する。



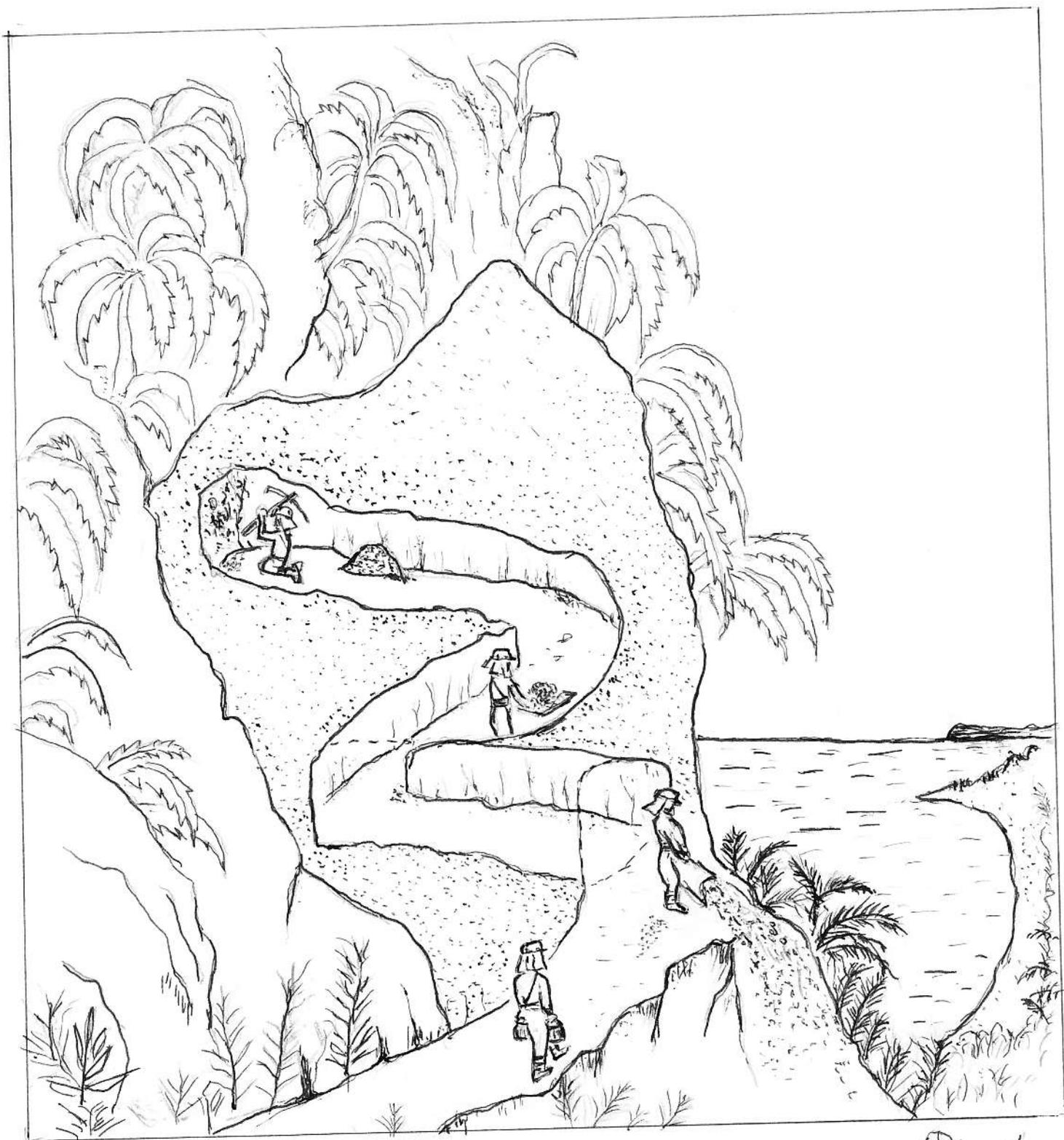
S.19. 10. 9. 才四中隊主力. カタナ移駐
小川上 等兵設計施行のカタナ吊橋の建設

Onagi



Onagi

S.19.10.11. パチヤに移駐 パチヤ警備に当る。
 パチヤカンポンの大通り、教会の前に大きなカボックの木があった。
 コンクリート造りの井戸は宣教師が造ったのかもしれない。
 インドネシア住民となかよくなった。 マテウス、ジュレニ、クモロク、
 エノケン(ニックネーム) 今頃どうしているかな。
 (エノケンによく似ているので兵隊が付けたニックネーム)

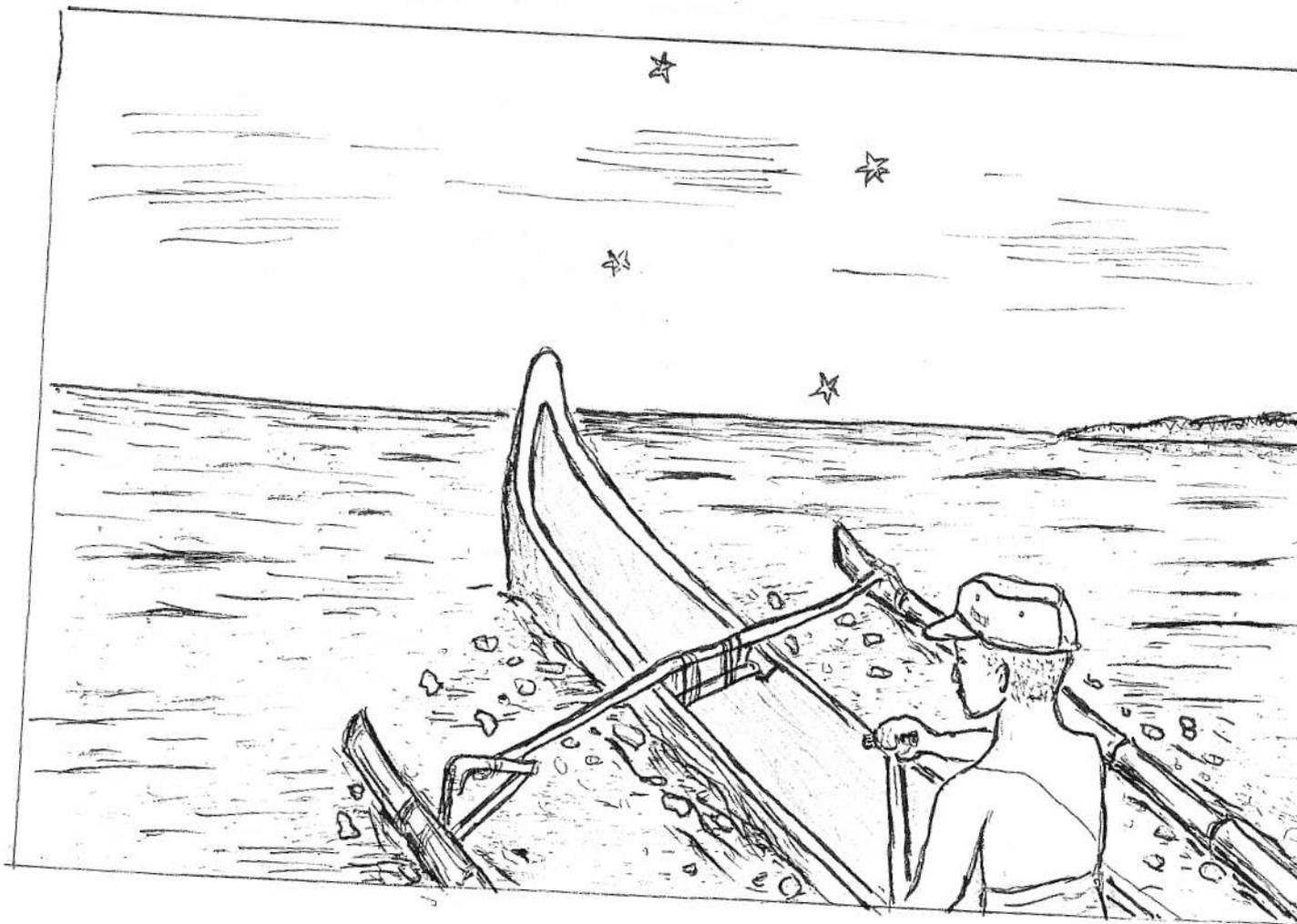


S. 19. 10.

カタナ、モグラ作戦

決戦に備へて横穴式洞屈を掘る。
未完成のまま他に移動する。

Onagi



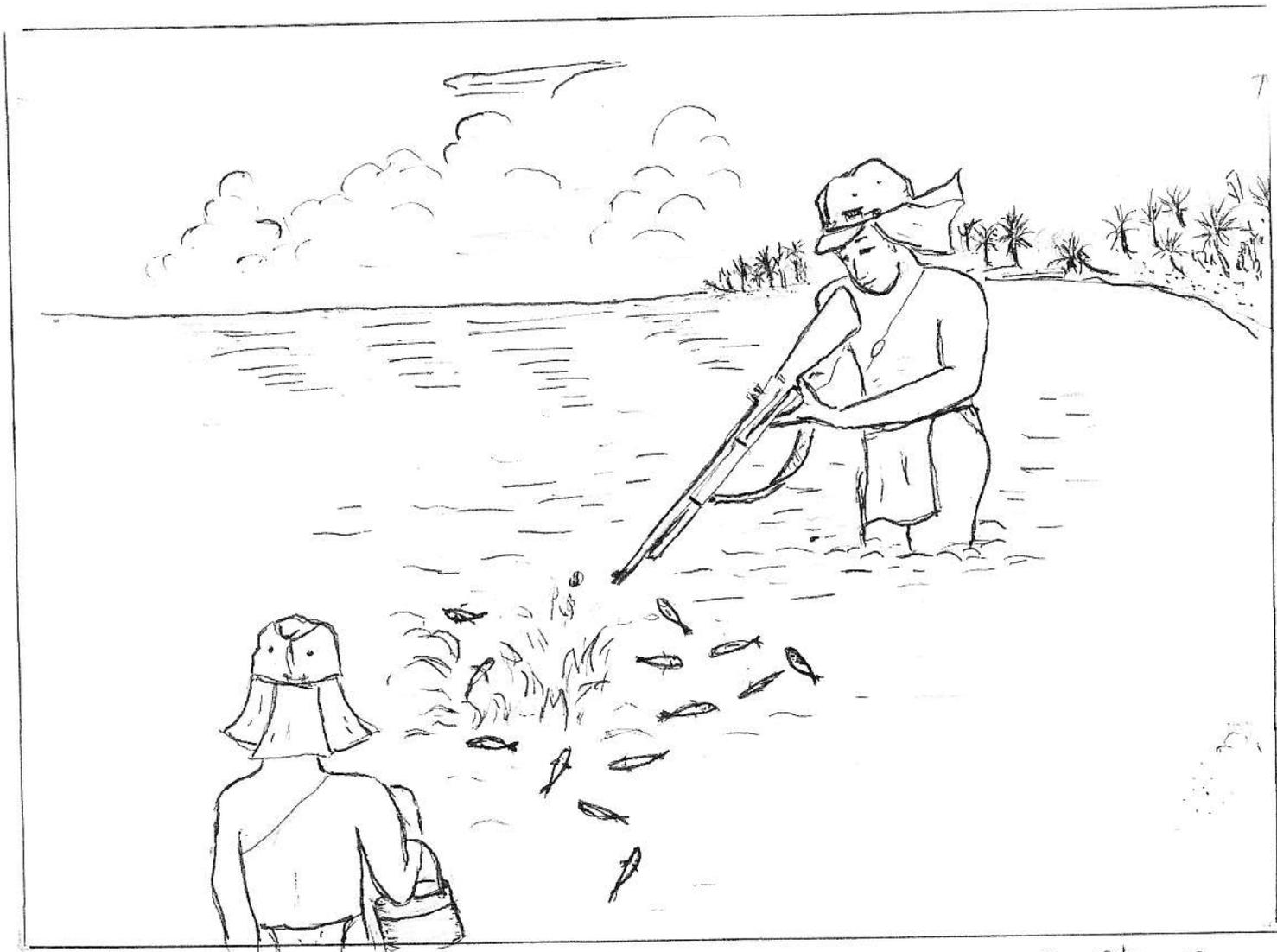
夜光虫 と 南十字星

S 19年11月

ハルマハラ コロライ

南太平洋の海は波も静かで特に夜の海は油を流した様でサンパン（土人の丸木舟）に乗って海に出ると波の立った所だけ夜光虫がきらきらと螢の光の様に波間に輝きます。

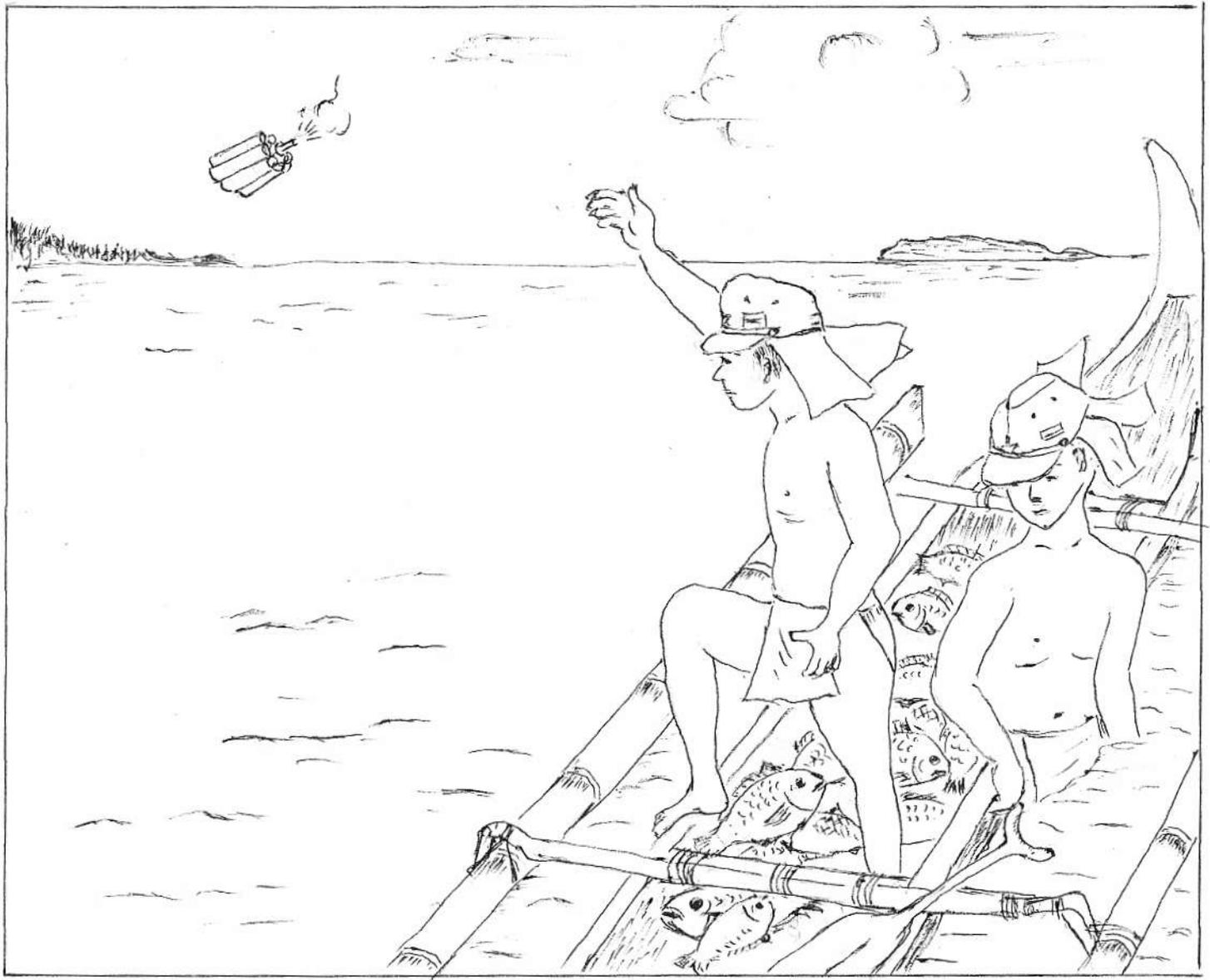
空には南十字星がダイヤモンド型に ならんでいます。
南十字星、本当にロマンチックな名前だ。兵隊が戦争を忘れる
ほんのわずかな南の夜のひとときです。



イカンギラを小銃で獲る

S. 19年11月
コロライ島

イカンギラとは小鰯のことです。下山一等兵と私小名木兵長はコロライ島の浜でイカンギラの群を発見 急いで魚を獲る方法を考えたが何もないので小銃を発射してみた。これが大成功 4発で飯盒が一杯になった。あとは逃げられた。手で頭をちぎって海水で洗い生で二人で全部食べた。

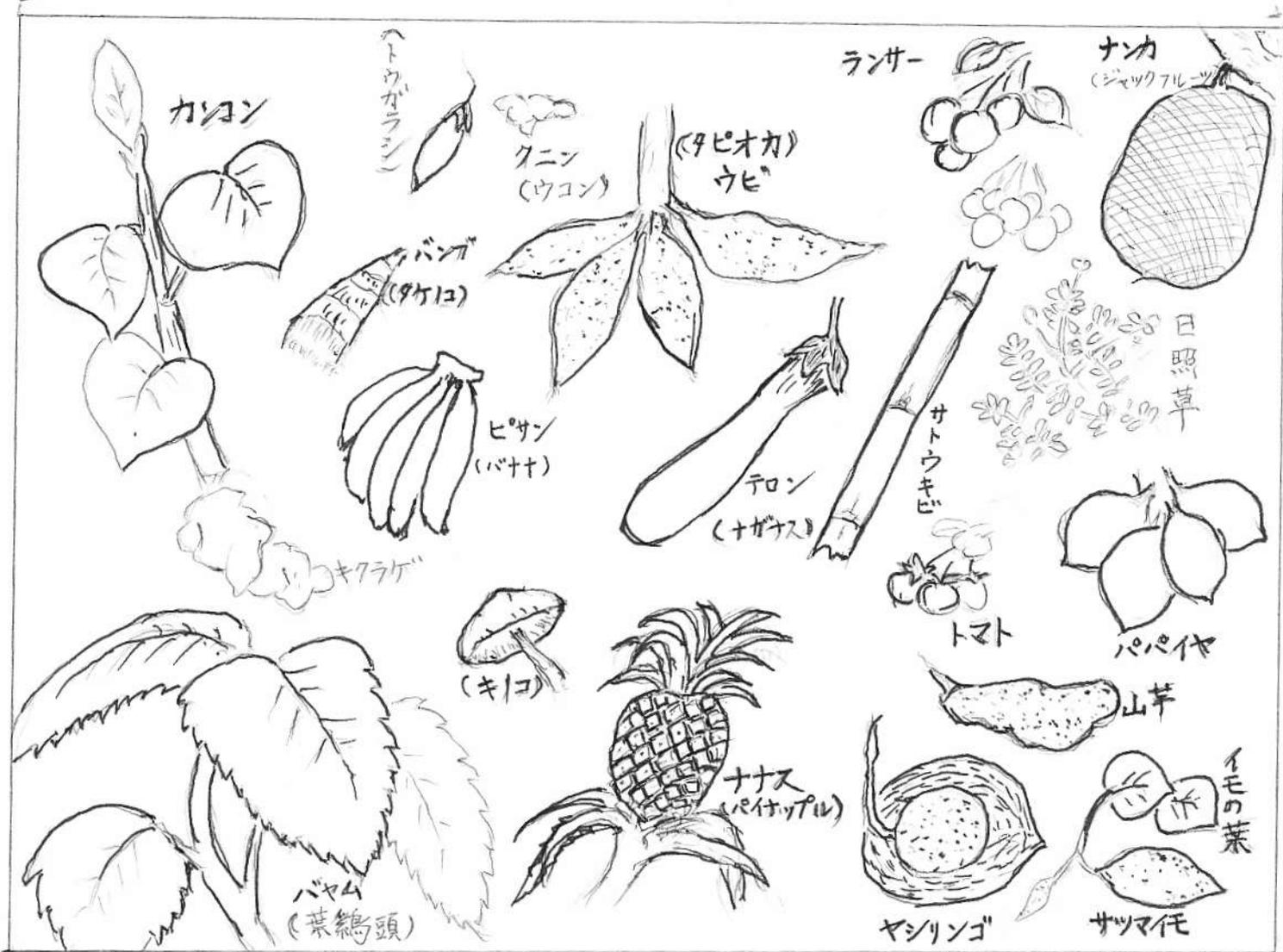


昭和19年12月 パチヤ。 マカン作戦のうち「イカンボン」 Onagi
 マカンとはインドネシア語で 食べる と言うことです。
 イカンとは魚のこと ボンとは ダイナマイトの爆発音で、ダイナマイトで魚を取る事を
 兵隊もインドネシアの住民も イカンボンと云った。

スリル満点の作戦で ダイナマイトの中に 半榴弾が入っている。 投擲すると
 魚でなく 人間が一匹取れる

南方の魚は 脂が少なく そのまま焼くと身がバラバラに分解してくずれるので
 全部 ヤシ油で空揚げにして食べる。(イカンゴレン = サカナを油で揚げたもの)

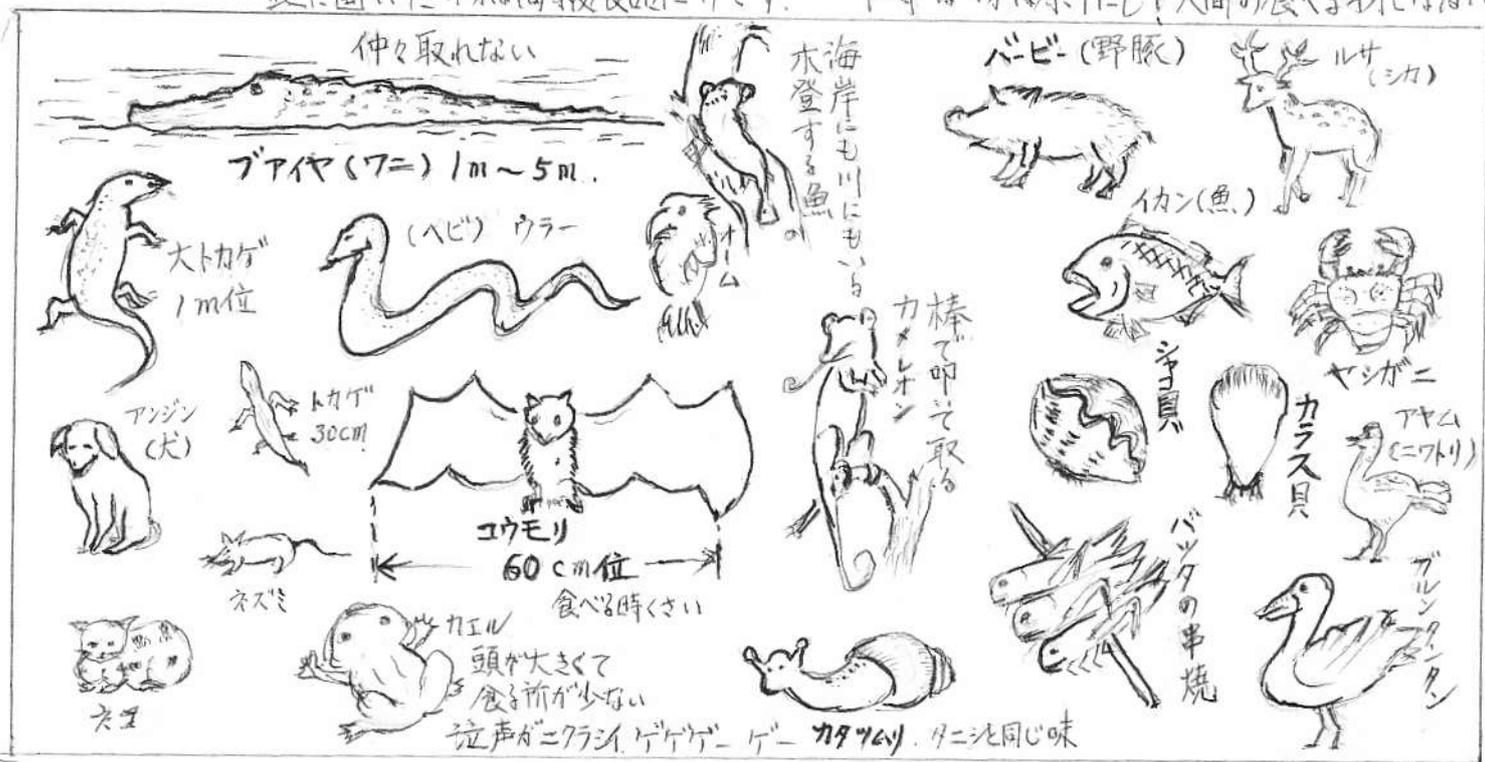
敵機の爆撃が毎日あるので イカンボンも 仲々大変だ。 空を見たり 海を見たり。

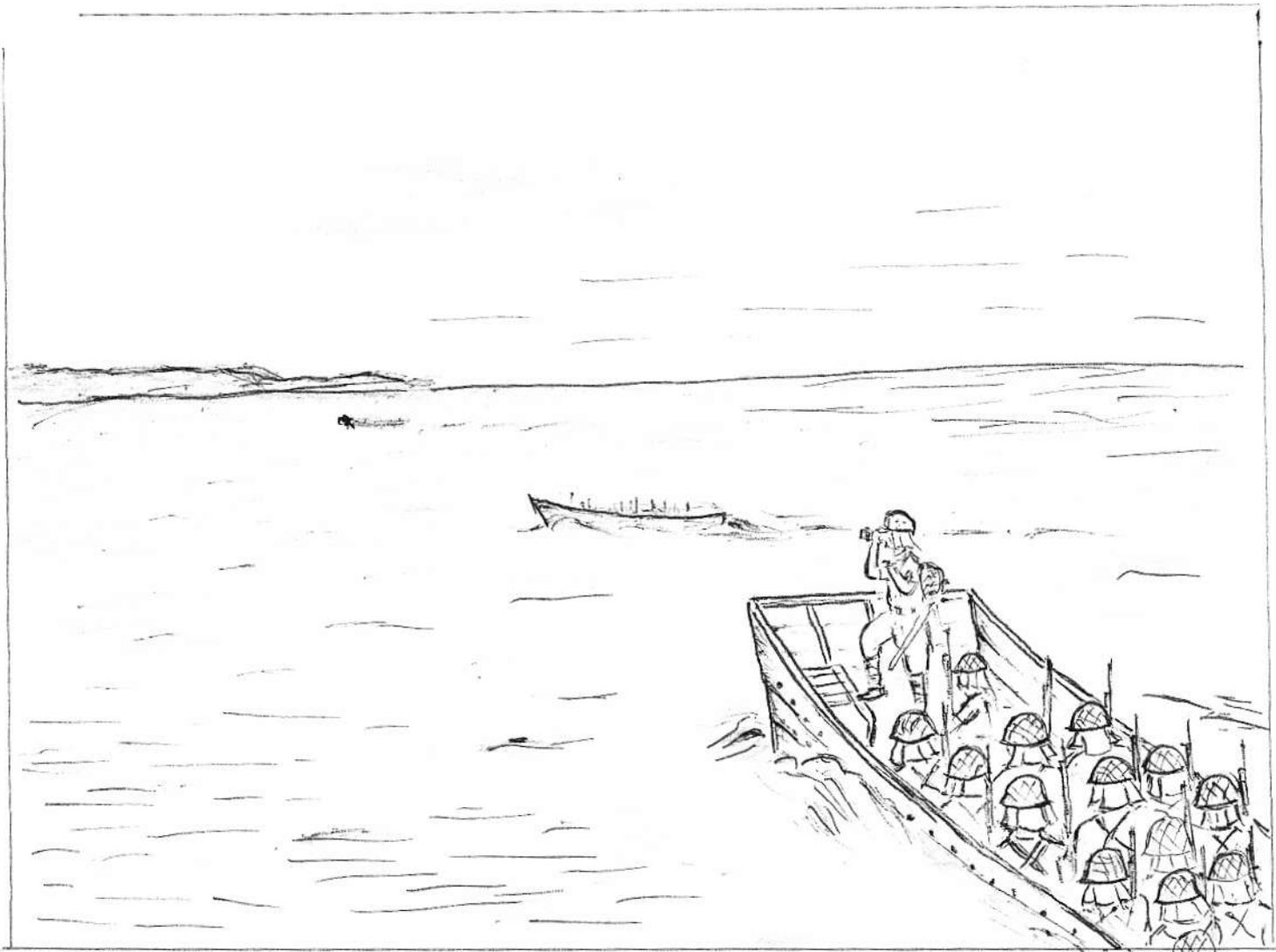


ハルマヘラ、モロタイで食べていた物 マカンボレ

メロ

此に画いた物は高級食品だけです。 下等な物は余りにも？人間の食べる物ではない



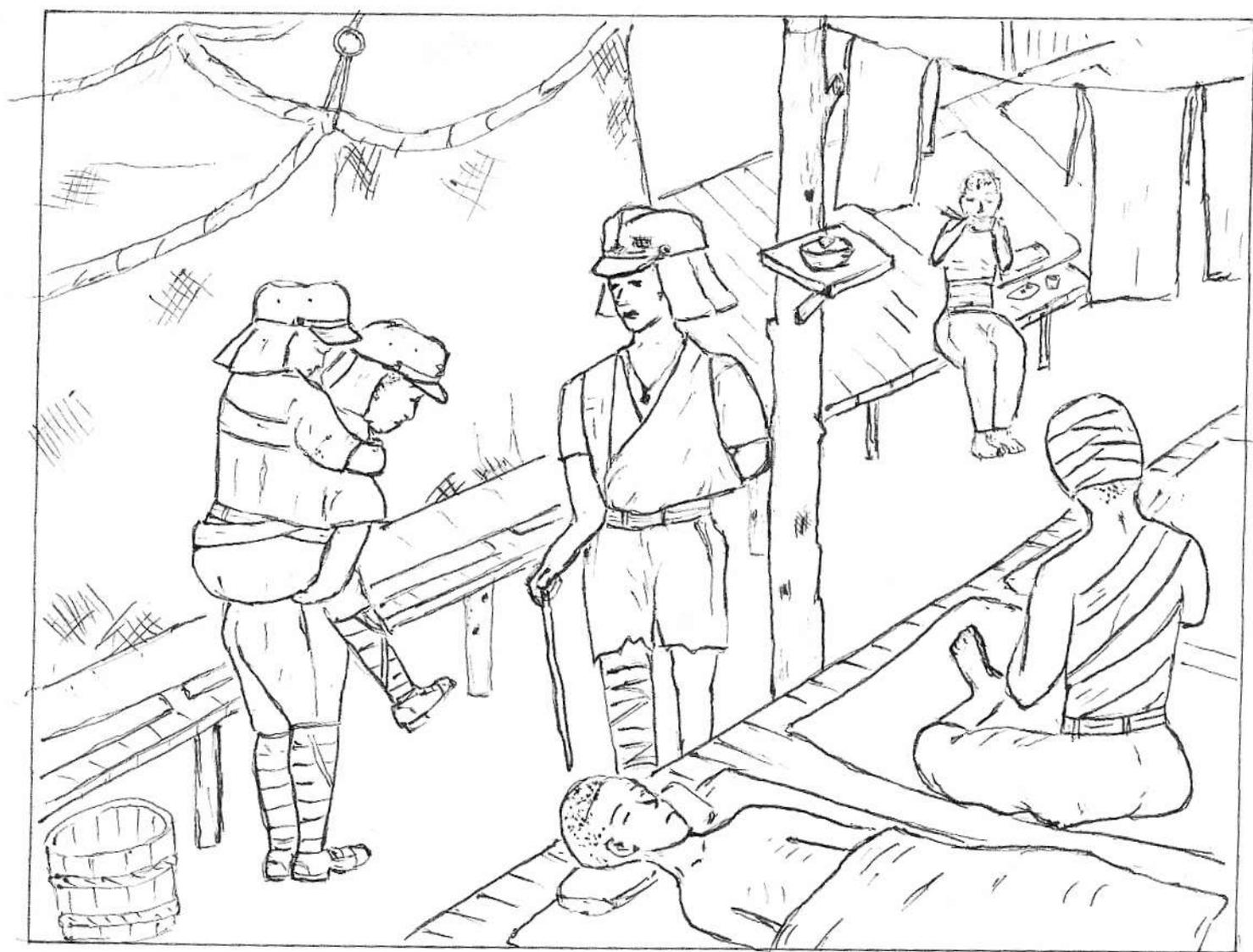


ま。〇。

モロタイ島突入作戦。オ三次斬込隊突入

昭和19年11月16日の夜、守田大佐の指揮するオ三次斬込隊 445名は（オ4中隊主力、オ1中隊主力）軍旗を奉じて必成を念じつつ、ガレラを発進、先ず海岸沿に北上した後、サリムリ岬附近よりモロタイ西海岸に上陸した。物資の揚陸に時間を要した為、翌日敵機の攻撃を受けて舟艇の大半は炎上沈没した。

守田部隊長、服部大隊長、此島中隊長、小坂、二枝小隊長、モロタイに於て戦死。四中隊主力も生還者数名のほか全員モロタイ島にて玉砕す。



S19年12月6日
ハルマヘラ島カタナ

カタナ野戦病院についた時はすでに

カタナ野戦の手前、丸木橋を渡った所で 背中の石原利男一等兵が急に重くなった。南冥の地 ハルマヘラより彼は昇天した。祖国に居る妻に心を残しながら。

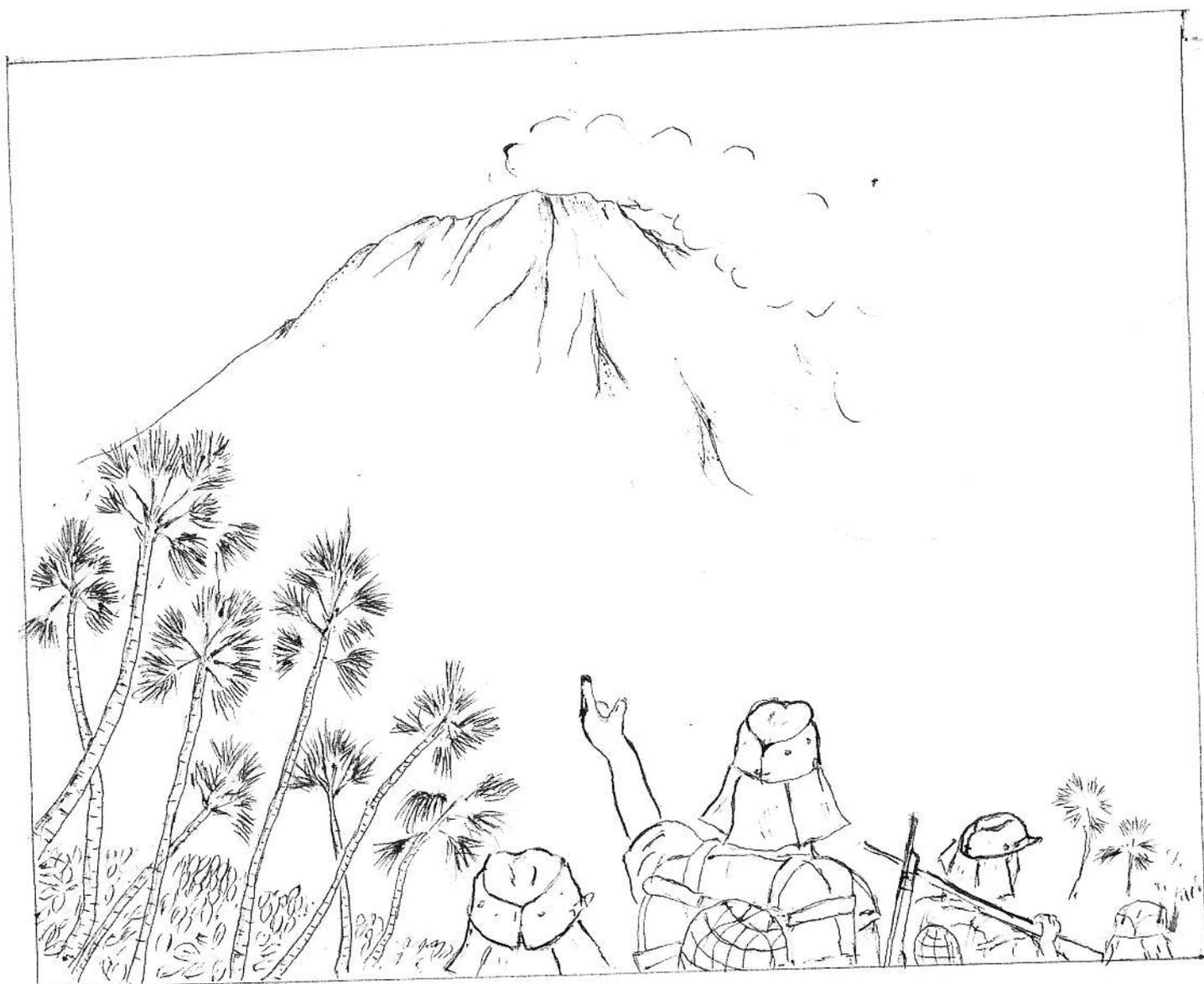
入院させるため 一日がかりで背負ってきたのに間に合わなかった。

病院近くのバナナの木の下に 野戦でもらった毛布に包んで埋葬する。

S.19年12月6日 真黒なゴマの様な種が一杯入っているバナナの

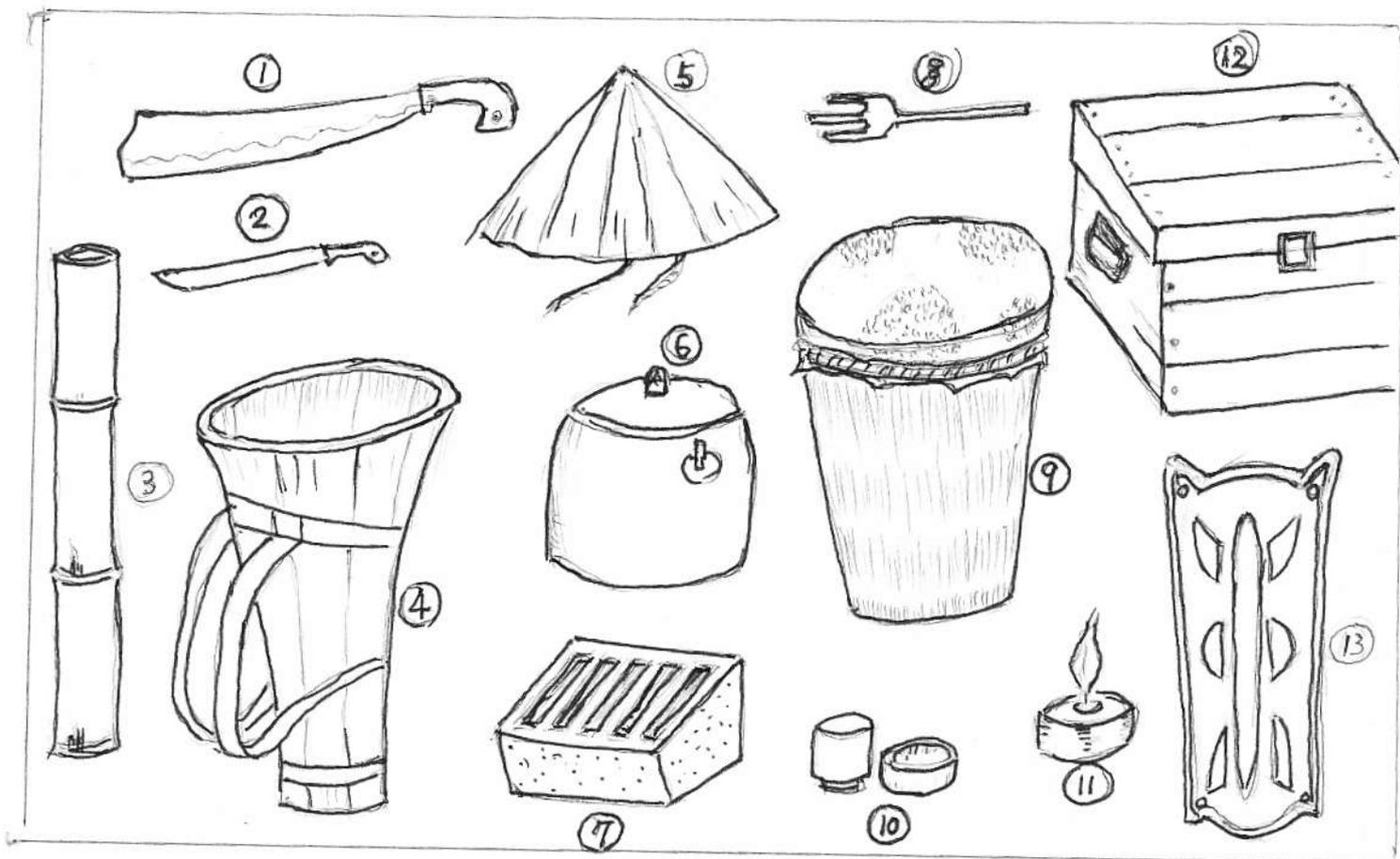
木の下でた。同行したのは私の弾薬手をしていた 山口三郎一等兵と思いが

はっきりとした記憶がない。



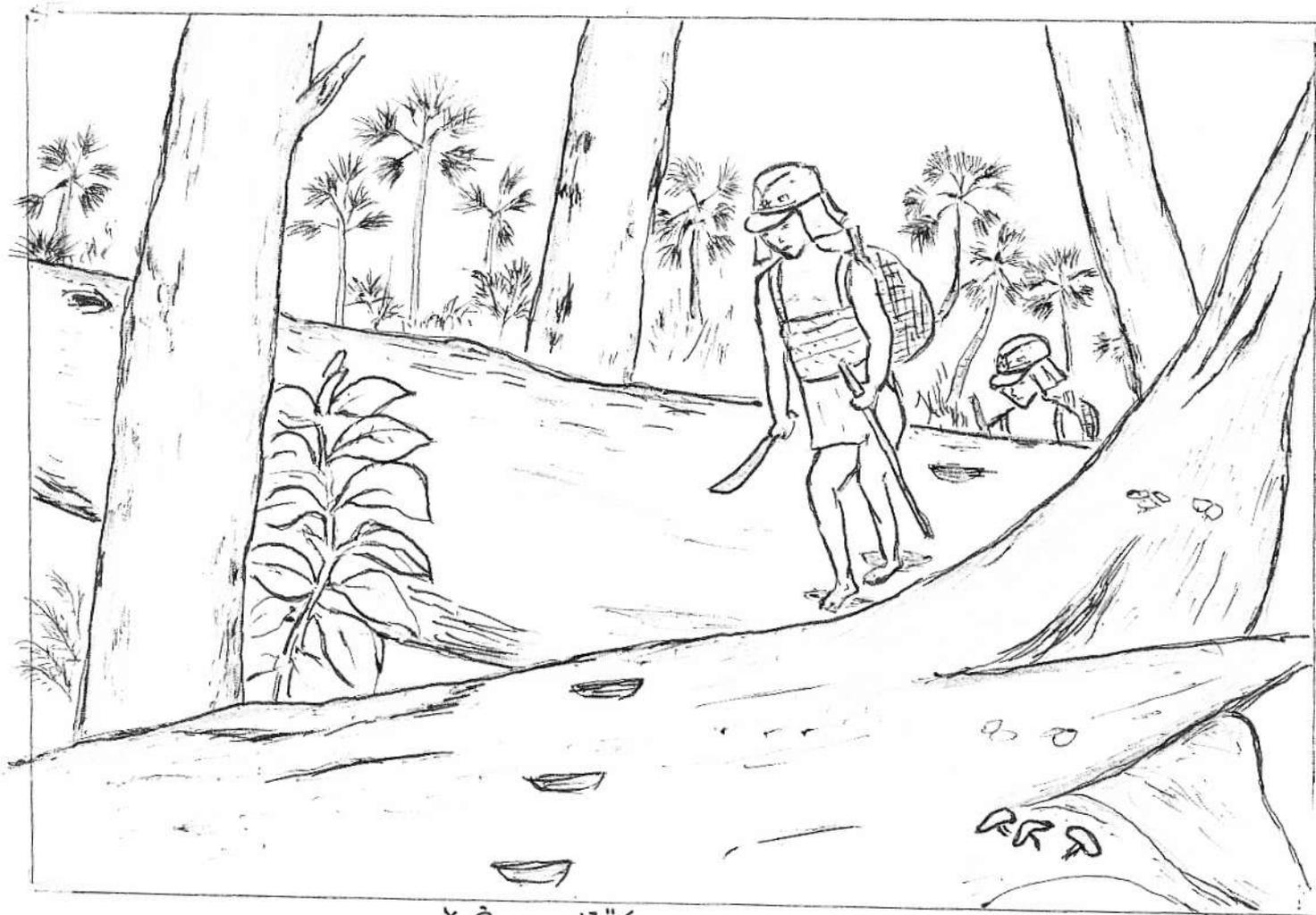
ハルマヘラ島 タラカン山

ハルマヘラ島 唯一の活火山。何年頃 どうして通ったが
思い出せない。温泉も沸いていました。



ハルマヘラ島民の日用品

- ① バラン(蕃刀) 男が持つ。居る。ジャングル生活にはなくてはならない物です。
- ② ピン (小刀) 女が持つ。居る。料理や敷物を作る時に使う。
- ③ バンブ (竹) 節をぬいた竹筒。湯を沸いたり 芋を水に入れてふかす。
- ④ セオイカゴ(インドネシア名不明) 女子が使う物を運搬するカゴ。
- ⑤ トツペイ (笠) 日除笠。男女共に使う。木の葉で編んである。
- ⑥ 鍋 (インドネシア名不明) 日本の火消ツボに良くにている。
- ⑦ 名称不明 土の素焼。この中にサゴ澱粉を入れて火で焼いて食べる。パンの様に 澱粉がやける。
- ⑧ 名称不明 竹で作る。頭髮をとかすくし。兵隊が初のフォークと間違えた。
- ⑨ ドラム 毛のついたままの皮が張ってある。
- ⑩ マンコ (コップ) インドネシア語で穴のあいたる物。くぼみのある物。
- ⑪ 名称不明 明りに ヤシ油を使う 灯し火。
- ⑫ シ 衣類を入れる木の箱。⑬ ロングに使うタテ。捨もある。



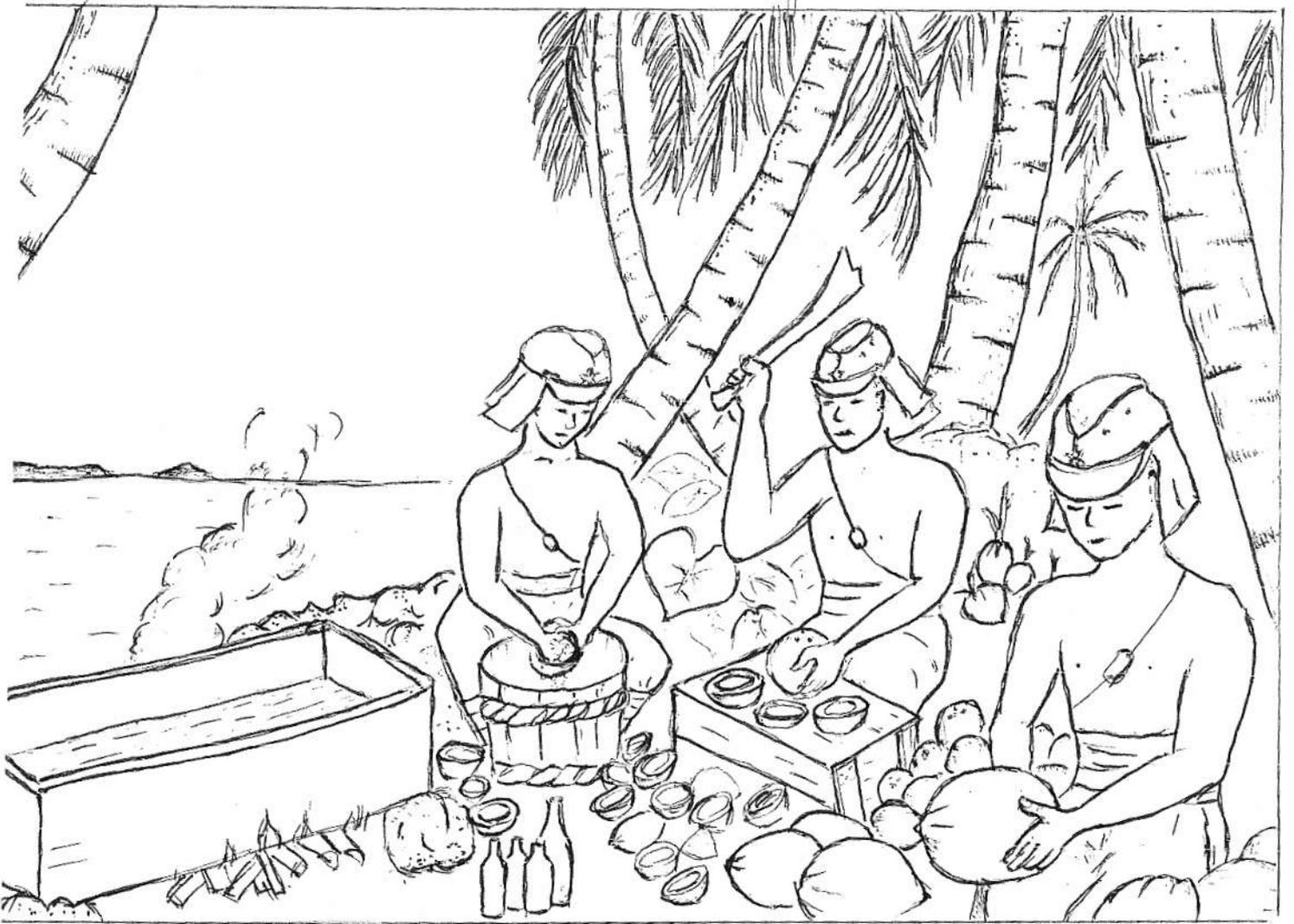
とう ぼく
倒 木

ハルマヘラ島

一寸した風雨にも南方の大木はすぐ倒れます。全島リーフのため根が浅いのでしよう。倒木による兵隊の死傷者も相当に多く出ました。ジャングルの中の道は倒木だらけです。道を歩くと木登りと半分半分の様です。

倒れた木を動かす事もできないので、蕃刀で足掛けを掘ってある。

この倒木によくキノコが生えています。兵隊は見付けただけそのキノコを胃袋に放りこむ。



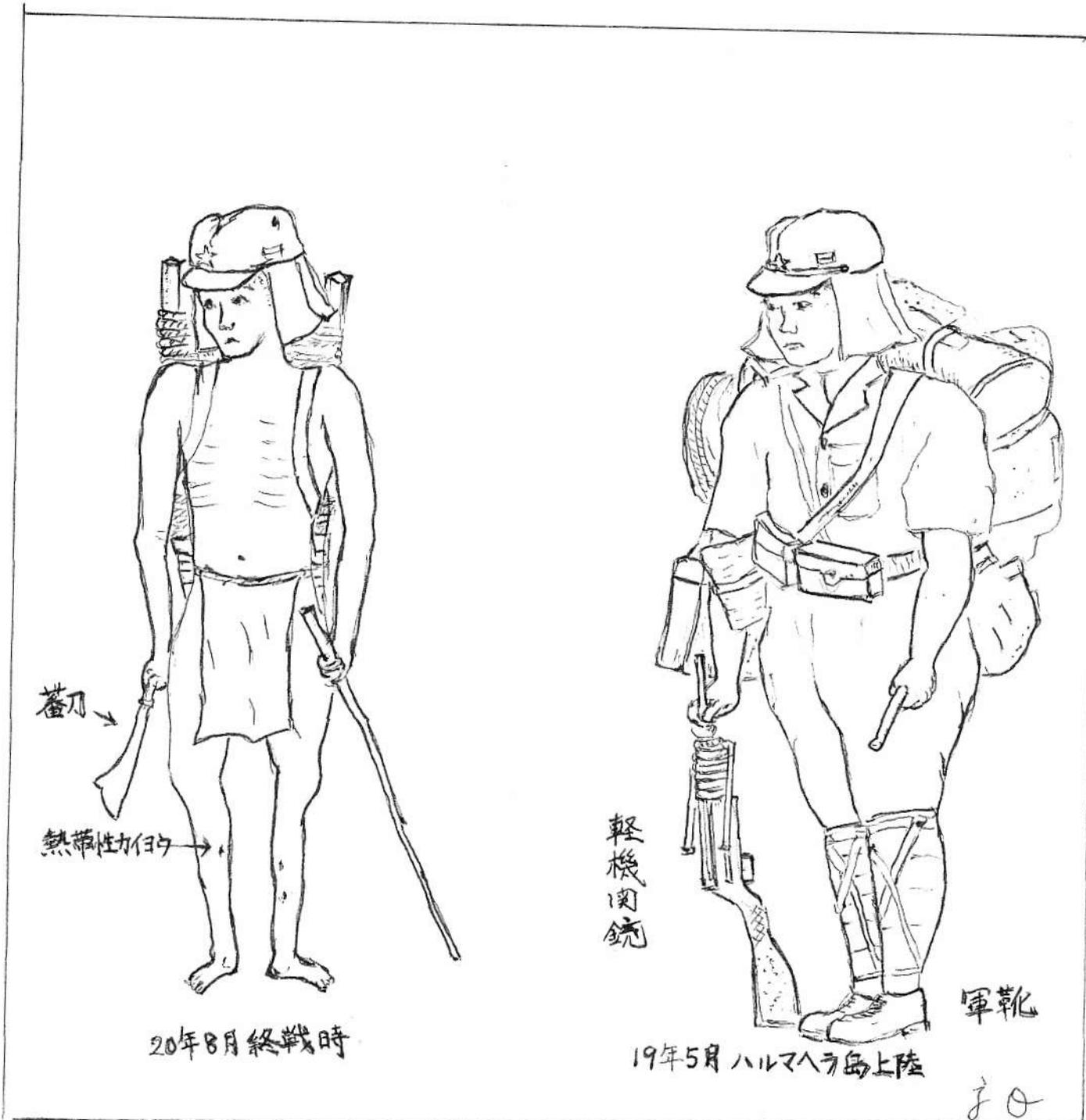
J. Onagi

マカン作戦のうち ヤシ油生産作戦

昭和19年12月 ハルマヘラ島一本木監視哨 古沢分隊

1. ヤシの実 20ヶで 油が 一升 (1.8ℓ) 取れる。
2. まずヤシの実(ココヤシ)の外皮をむく  穴が三つあいている
芽と根が出る穴です
3. 中の実  を二つに割る  中に白い油脂が付いている
これをコアラと云う
4. 二つに割ったコアラを ^{ガネ}オロシ金でオロす  →  白い粒にする
5. オロしたコアラを 水に入れて良くまぜると白い液体が出る。カスは捨てる
6. 白い液体を釜に入れて 火でなくヒ水分は蒸発して油だけ残り。作戦完了

19年12月1日兵長に打る(ジャランサト) バンソーコにリバーを塗って階級章を造る。
道が1つ

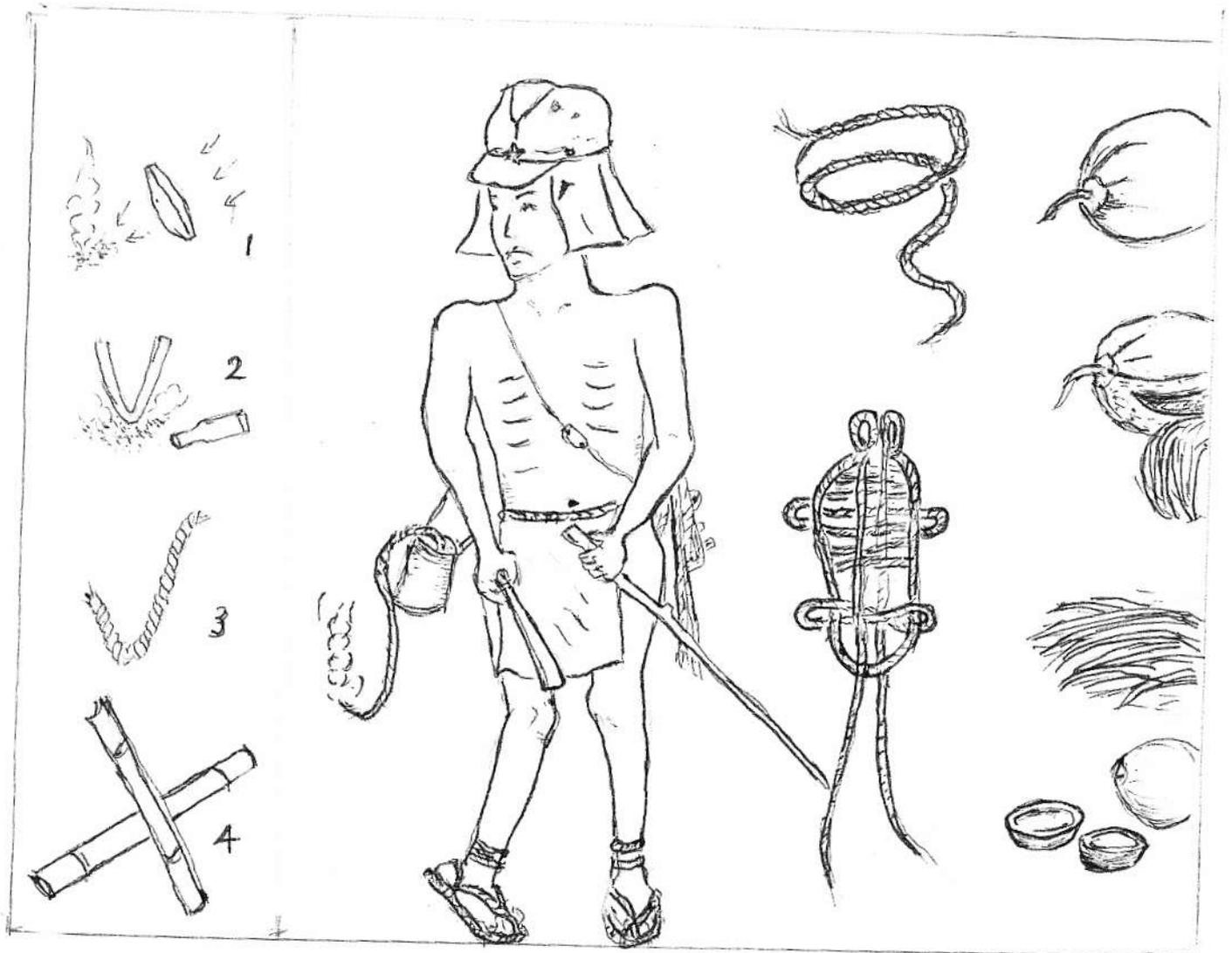


20年8月終戦時

19年5月 ハルマヘラ島上陸

昭和20年8月14日 中ノ野戦憲兵隊がラ憲兵隊トベロ憲兵隊
 が十分遣隊より終戦のため原隊復帰(四中隊)

昭和20年10月19日 ハルマヘラ島に於て武装解除



火の起し方

西部ニューギニア
ハルマヘラ島

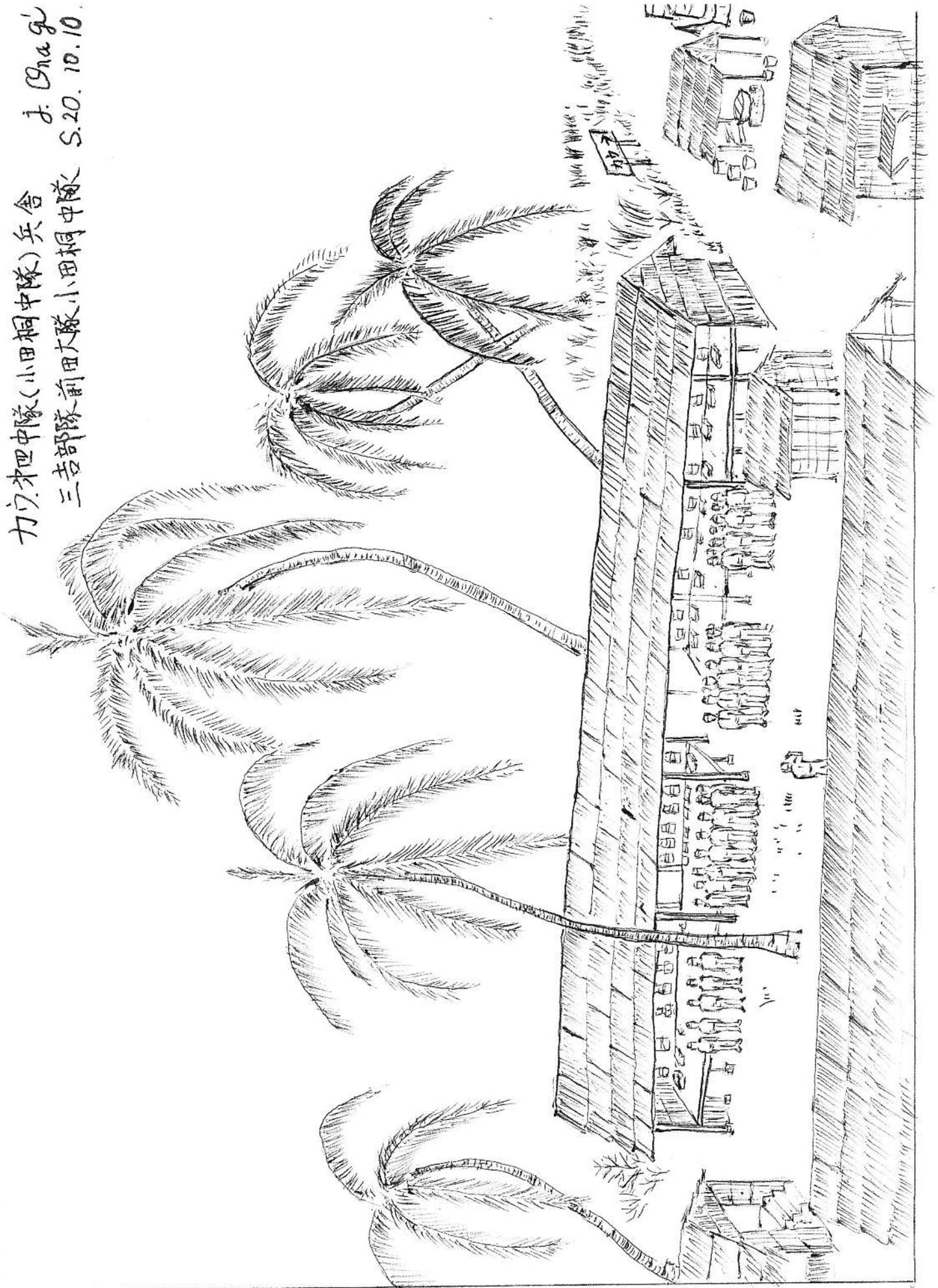
1. 太陽の出ている時は、レンズを使って火を起す。
2. 太陽の出て居ない時、針金を何回も折り替えて熱を起し、小銃の火薬に付けて火を起す。
3. 椰子のガラで編んだ火縄を持って歩く。
4. もっとも原始的に、竹と竹をこすって火を起す。

ワラジの造り方も習う

上図の様に椰子の実のガラでワラジを造ることも習う

頭の上に戦闘帽が無ければ昔の雲助と間違ふ様な姿となり、ジャングルの中を食べ物を探してさまよい歩きました。

力穴才四中队(小田桐中队)兵舎
三吉部隊前田大隊小田桐中队
J. Onaga
S. 20. 10. 10.





ア、復員船、そう思ったのは早合点 S20年10月

三隻の船を見付けたのはもう4時間も前だ。引がつていた足が急に元氣を取りもどした。ブリキの湯たんぽの様は胸が高鳴る。早く船のそばに行きたい。海岸沿いの尾根道は人一人分しか巾がない。追越禁止だ。

気があせる。早く船に乗りたい。骨と皮だけの体はニューギニアにあっても心は祖国日本に向っている。

大きな岬を一つ越すと三隻の船は眼下にあった。ア、復員船と思ったのは浅瀬に乗上げた軍艦のあわれな姿でした。

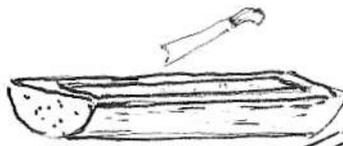


マカン作戦のうちサゴヤシ澱粉取り ㊦

1. サゴ澱粉を取るには水を使うので、川に近い所のサゴヤシの木を見つける。

2. 根本からサゴヤシの木を切り、それを長さ2m位に輪切にする。 

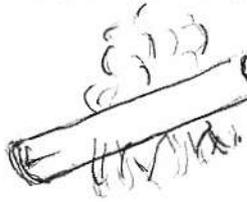
3.  タテに2つに割る。皮は固いが中は柔らかい。

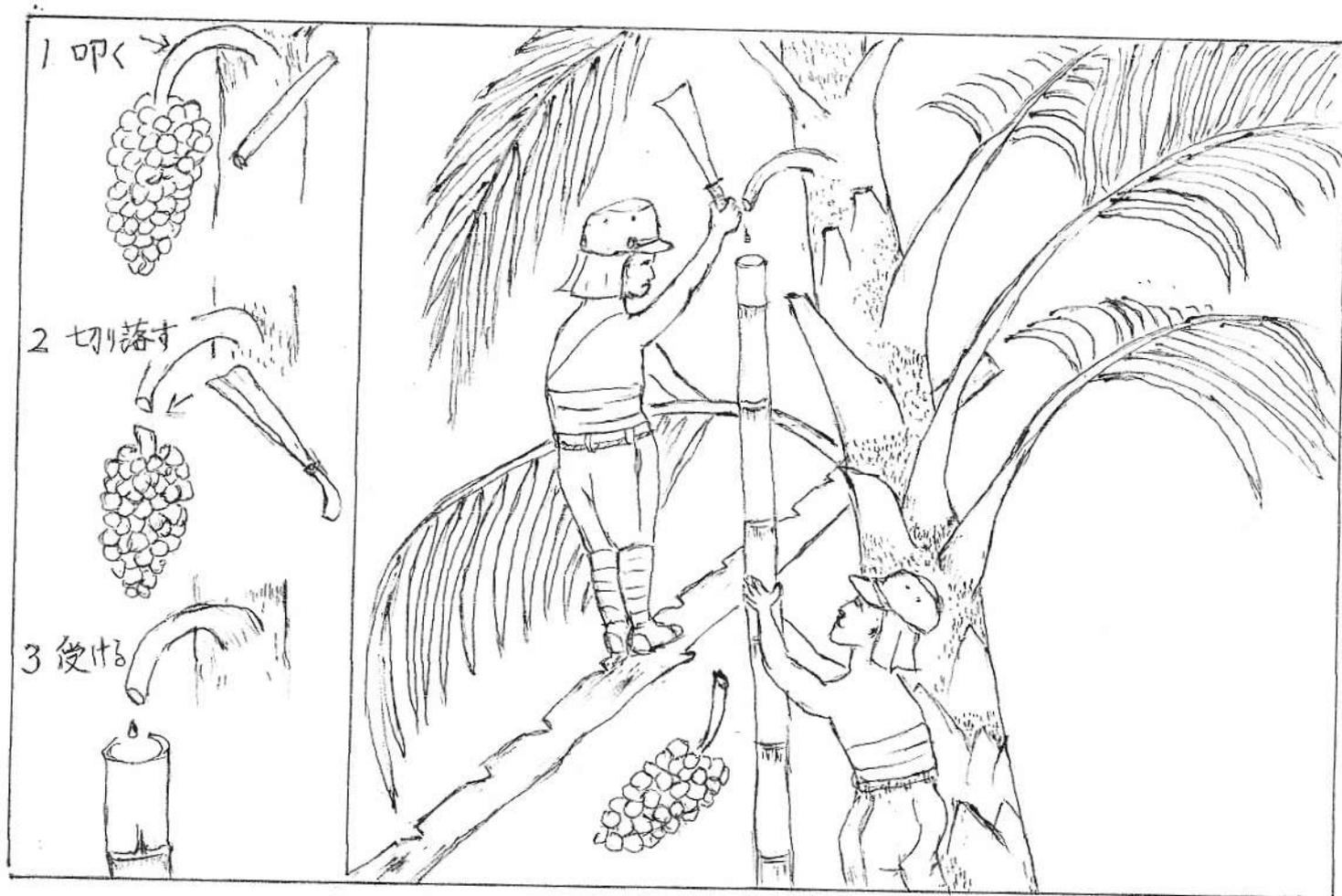
4.  中の柔らかい所を刃物でゴマカク砕く。粉々になるまで。

5.  水を入れて良く混ぜる。浮いたカスは捨てる。水を入れて何回もくり返す。

6.  サゴヤシの木をそのまま水槽として使う (丸木舟を水槽の代りに) 使うこともある。一晩置くと澱粉だけ下に沈澱する。上の水をそっと捨てる。澱粉だけ残る。

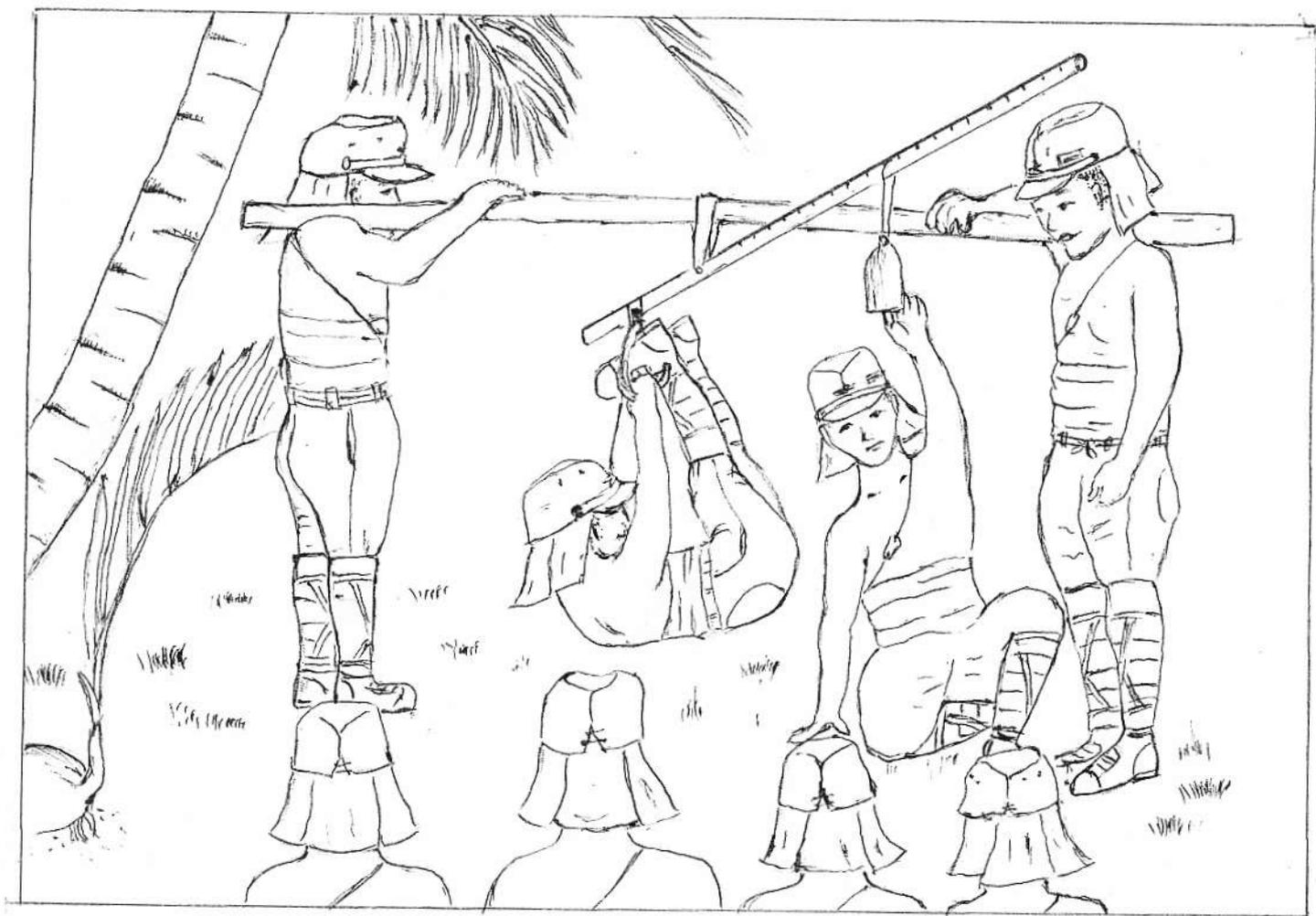
食べ方色々あるが一例

 ① バナナの葉で蓋をする。竹にサゴ澱粉を入れて火で焼く。南方の竹は水分が多くて燃えない。



椰子酒の取り方 ハルマヘラ島ランゴラゴ

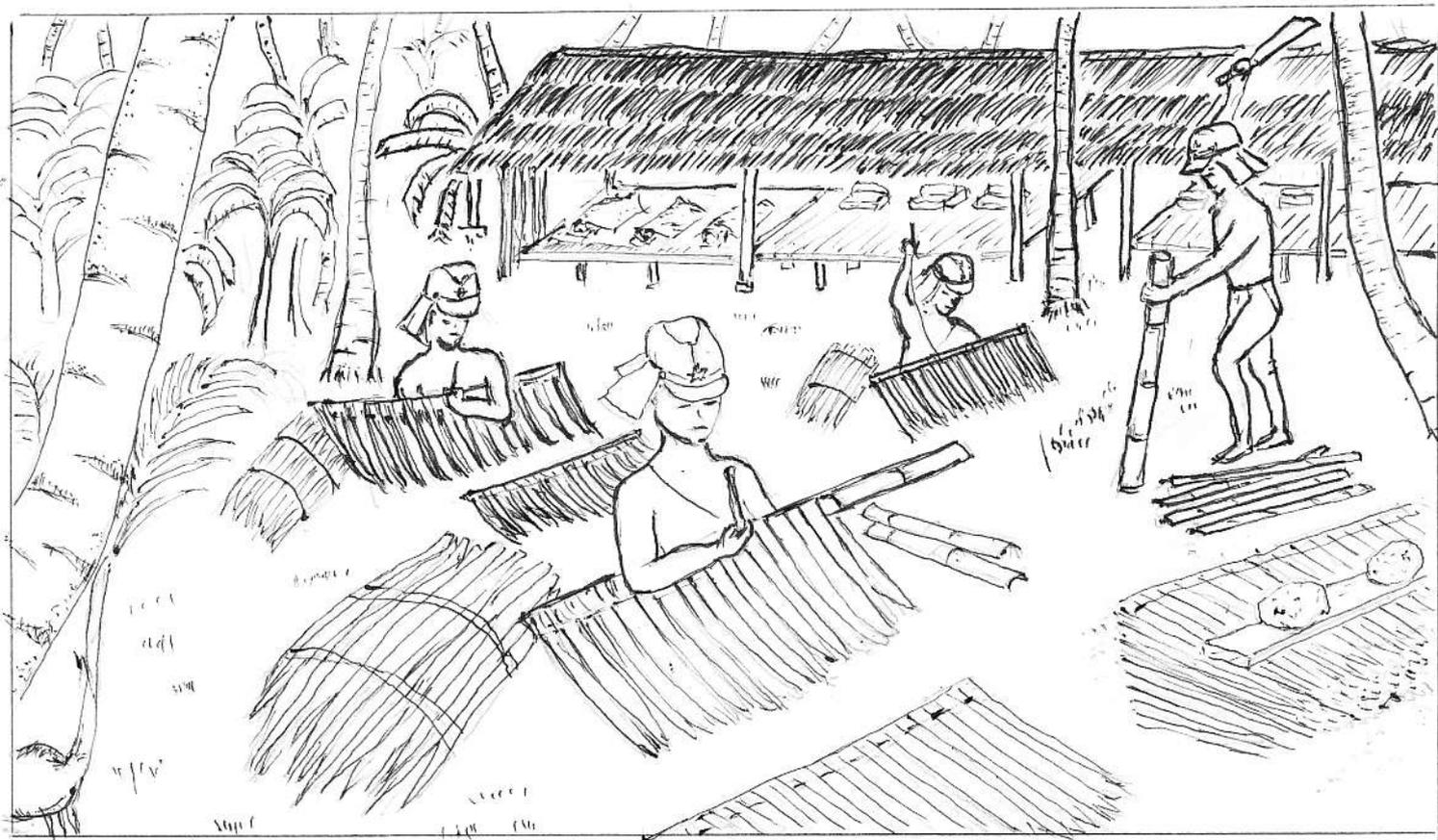
1. サゴ椰子の実の付け根(房の茎)を一日数回棒で叩く
これを一週間くらい続ける。この叩き方が悪いと汁の出が悪い。
2. 房を薙刀で切り落とす
3. 節を抜いた竹筒を下で受けて出てきた汁をためる
一夜で3.6リットル位にたまる。味はカルピスのような味がする。
これをサゴエルと云う。更に一日置くと酔いのようなになる。
4. 酔いのようなになったらこれを蒸溜するとアルコール分45%くらいの
チューターになる。



体重測定 S. 20年11月 ハルマヘラ島カウで

野豚の目方を量っているのではありません。ぶら下っているのは正しく大日本帝国の軍人です。戦に破れた兵隊達は皆やせて骨と皮ばかりになっていました。現在80Kgある私も 当時は40Kg以下になっていました。ぶら下がる体力のある者は良い方で、栄養失調の激しい者は天幕に包んでぶら下げて計りました。

ハイ次ぎ 小名木兵長。10貫800匁であります。



S. 21年3月
ハルマヘラ島カウ

アタツプ ビキン カリジヤ
椰子の葉の屋根を 造る 仕事

大隊本部からアタツプ何枚何日までにと云う命令が来るらしい。
毎日毎日アタツプ造り。兵隊さんは屋根屋になりました。

サゴ椰子の葉を取りに行くもの、バンプ(ヤケ)を取りに行くもの、
バンプを割るもの、アタツプを編むもの、たちまち流れ作業が
始まる。 残りの兵隊は コボン カリジヤに行く。
畑 仕事

仕事をしないのは40度の熱を出してるマラリヤ患者だけ3、4名。

全員マラリヤに掛っているので毎日交代で熱を出す。

氷もないのでその苦しいこと苦しいこと。



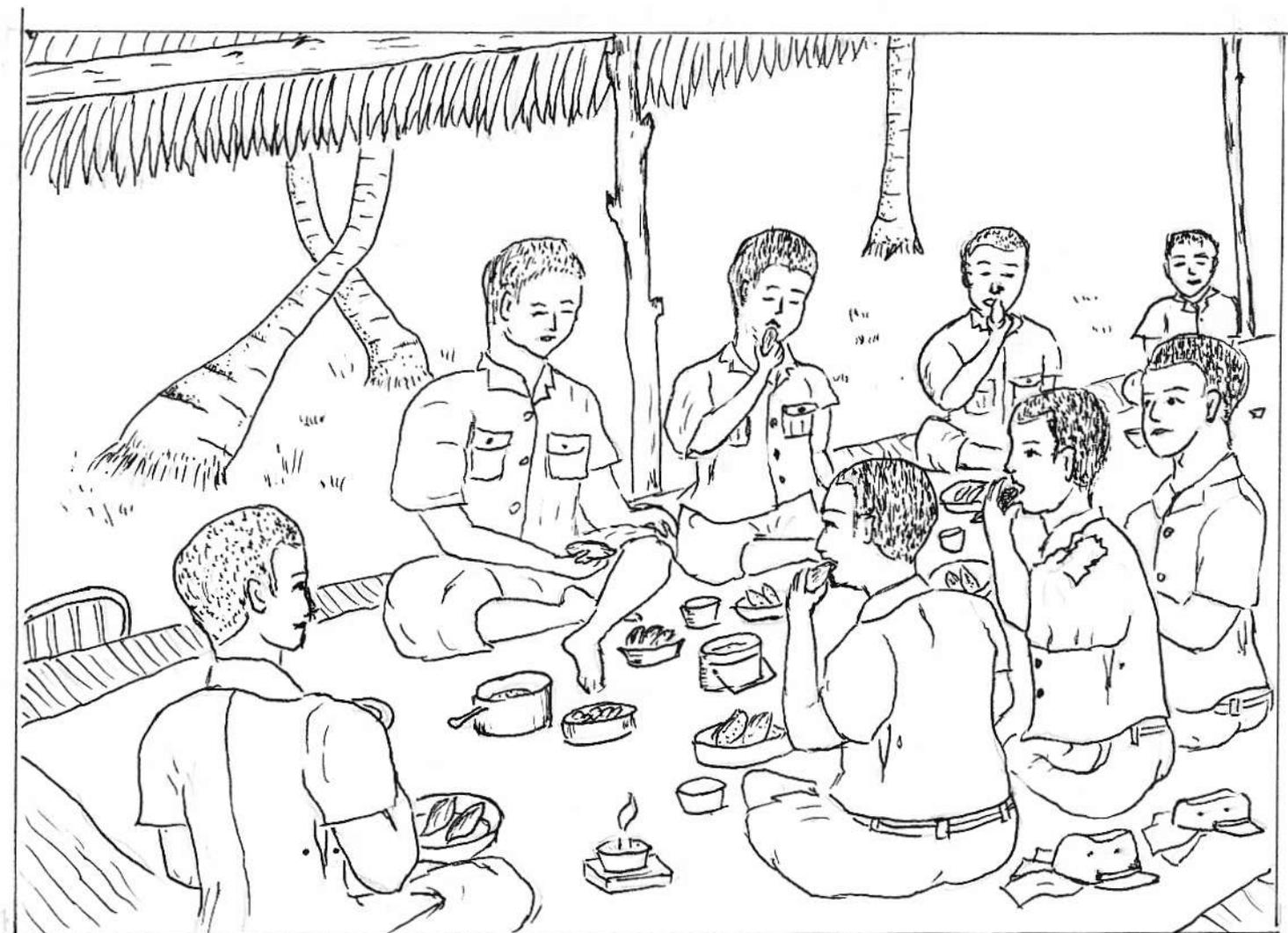
昭和20年10月10日カウに移駐兵舎設営後自給のため
芋畑を作る

ま. Onagi



カウ四中队案内図

昭和21年5月25日 ペテワン移駐まで約6ヶ月 カウ兵舎で暮す。



ささやかな中隊会食

ま Q.

カウ兵舎で10日に一回位たのしい会食

さつまい芋(中) 3本半
 さつまい芋の葉 油いため
 さつまい芋の葉の 塩汁
 さつまい芋のくきのおしたし
 さつまい芋の天ぷら(ヤシ油で揚げる)
 たまにカラス貝が出る

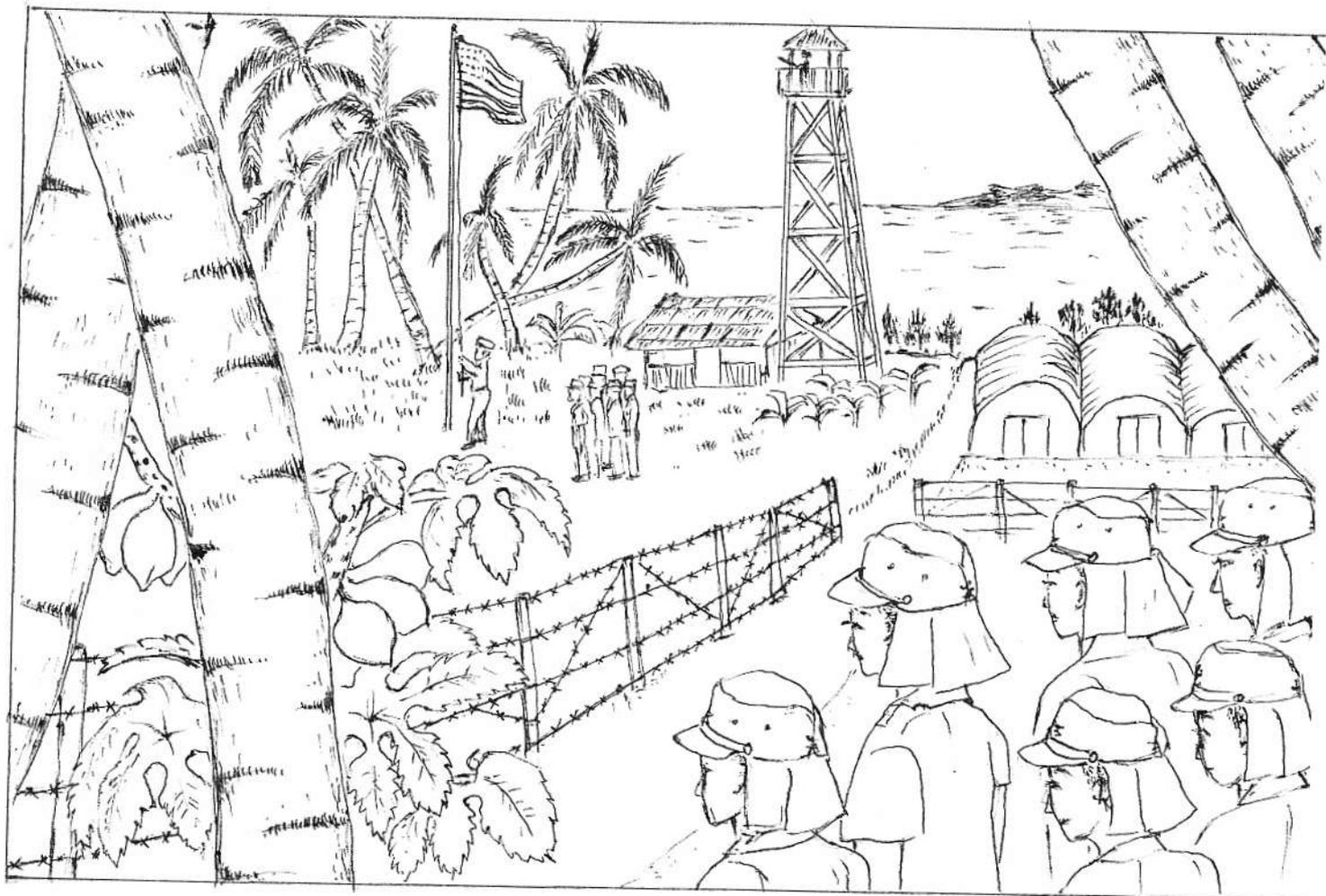
カウ劇場に於て時々演劇あり。四中隊より徒歩5分位で行けたと思う
 腹時計なのでいつもあてにならない。時計はハヤホール上陸の時海水が入って

アビス(終り) 演劇は女装が一番人気があった。

辞当を持って見に行ったと思う。

(さつまい芋3本)

このころから生きていて良かったと思う様になった。



ペテワン抑留者収容所に 前田大尉以下 73名残る。 ふじ
 収容所長はキャプテンリーベルと云う米軍大尉でした。
 戦時中は北海道の収容所で石炭掘をさせられていたようですが
 日本語がべらべらでその上大変親切な人でした。

抑留者内訳

一大隊本部	3名	第一機関銃	7名	三大隊本部	1名
一中隊	7名	歩兵砲中隊	7名	()中隊	1名
二中隊	22名	速射砲中隊	7名		計 73名
三中隊	1名	通信中隊	7名		
四中隊	7名	東馬小隊	3名		

※ 二大隊の抑留者はモロタイ島に残された。

編集後記

新年おめでとうございます。

会報「タルシウス」平成26年度の初号は第26号と、バッチリ決まりました。

このところ新年号の巻頭ご挨拶は呉の大之木様をお願いしています。大之木様、ありがとうございます。

今号は女性軍にがんばってもらいました。江田さんのトモホンお食事処案内、下村さんのビザ手続きガイド、ブナケンの玲子さんのワインご案内、いずれも私達の生活に有益なレポート、案内です。ありがとうございました。

予期しなかったご寄稿がありました。大阪の清水様は、以前はジャカルタなどで勤務されていたそうですが、退職されて帰国したあと各地を慰霊行脚されているそうです。たまたまビトゥンに來られて元山霊園、日本人墓地を参拝され、そのあとハルマヘラ島に向かわれたのですが、その顛末のご報告をいただきました。お話によると、清水様の中学校の恩師が海軍の第14期飛行予備学生であったそうで、マネンボネンボの霊園も大之木さんなど第14期飛行予備学生生き残りの皆さんが建立されたものですから、参拝のときも非常に深い思い入れがあったようです。清水さんありがとうございました。また機会がありましたらビトゥンまで足をのばしてください。

その元山記念霊園ですが、去った11月8日、数年ぶりに慰霊祭が執り行われました。これまでの慰霊祭は元山戦闘機隊関係者の主催で行われていましたが、今回は世代交代の意味もあって呉水交会主催で行われました。慰霊祭には日本人会から5名参加しましたが、その一人、大貫さんからレポートをいただきました。

慰霊団のメンバーのひとり杉本正彦氏は、平成15年7月に海上自衛隊練習艦隊がビトゥンに寄航されたときの司令官で、当時の会報にも「ご挨拶」が載っています。日本人会の面々は練習艦かしまの艦内見学に招かれました。10年ひと昔、あのころのメンバーで現地に残っているのは古賀さん、阿部さん、玲子さん、長崎くらいでしょうか。

小名木二郎氏の「南方の思い出」。会報第23号に10数ページ掲載されましたが、状態が悪くて掲載できなかった分を修復、復元して一挙大公開です。原画（コピー）の修復復元は当編集部開発の特殊技術を駆使して、完璧とはいえませんが95%くらいの出来栄です。小名木氏の品川駅出発からハルマヘラの捕虜収容所まで、ハルマヘラの民俗記録も含めて非常にわかり易く、かつ貴重な記録です。

ところで、小名木氏の話は依然としてつかめません。ご存知の方は当編集部までご一報お願いします。（長崎）

会員名簿

会報「タルシウス」電子版では不特定多数の方が閲覧するため、セキュリティ上の観点より会員名簿は非公開とすることとしました。

(2014年04月20日)

上記理由により会員名簿が非公開になりましたことをご了承ください。

●会報タルシウス（製本版）には従来通り名簿は掲載されます。

●各会員に対しましての個別の、または、尋ね人などのお問い合わせは、

直接日本人会へお問い合わせください。

該当会員に連絡後、会員より直接連絡するか該当会員の同意のもとで、

連絡先をお知らせすることといたします。